ドメイン/Webサービス Webサーババージョン3
新機能・仕様変更機能紹介資料

株式会社大塚商会

Copyright©2024 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

ドメイン/Webサービス　Webサーババージョン3　機能強化概要

■リリース予定
2026年2月3日（火）

■対象サービス
たよれーる Microsoft 365 ドメイン/Webサービス

■機能強化内容（新機能）
1. FTP利用制限
2. HTTP接続元制限
3. 常時SSL化設定
4. Webサーバ情報 ＞ 送信元アドレス設定
5. ステージング環境

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

ドメイン/Webサービス　Webサーババージョン3　機能強化概要

■仕様変更

6. DKIM対応
7. 作成ツール＞モバイルURL振り分け
8. ファイルマネージャ　ファイル登録サイズ上限引き上げ
9. 独自SSL管理 ＞独自SSL設定 証明書、秘密鍵の取得
10. FTP接続元制限
11. ディスク利用状況
12. Webサーバ情報の変更

■機能削減

13. 作成ツール＞アクセスカウンタ

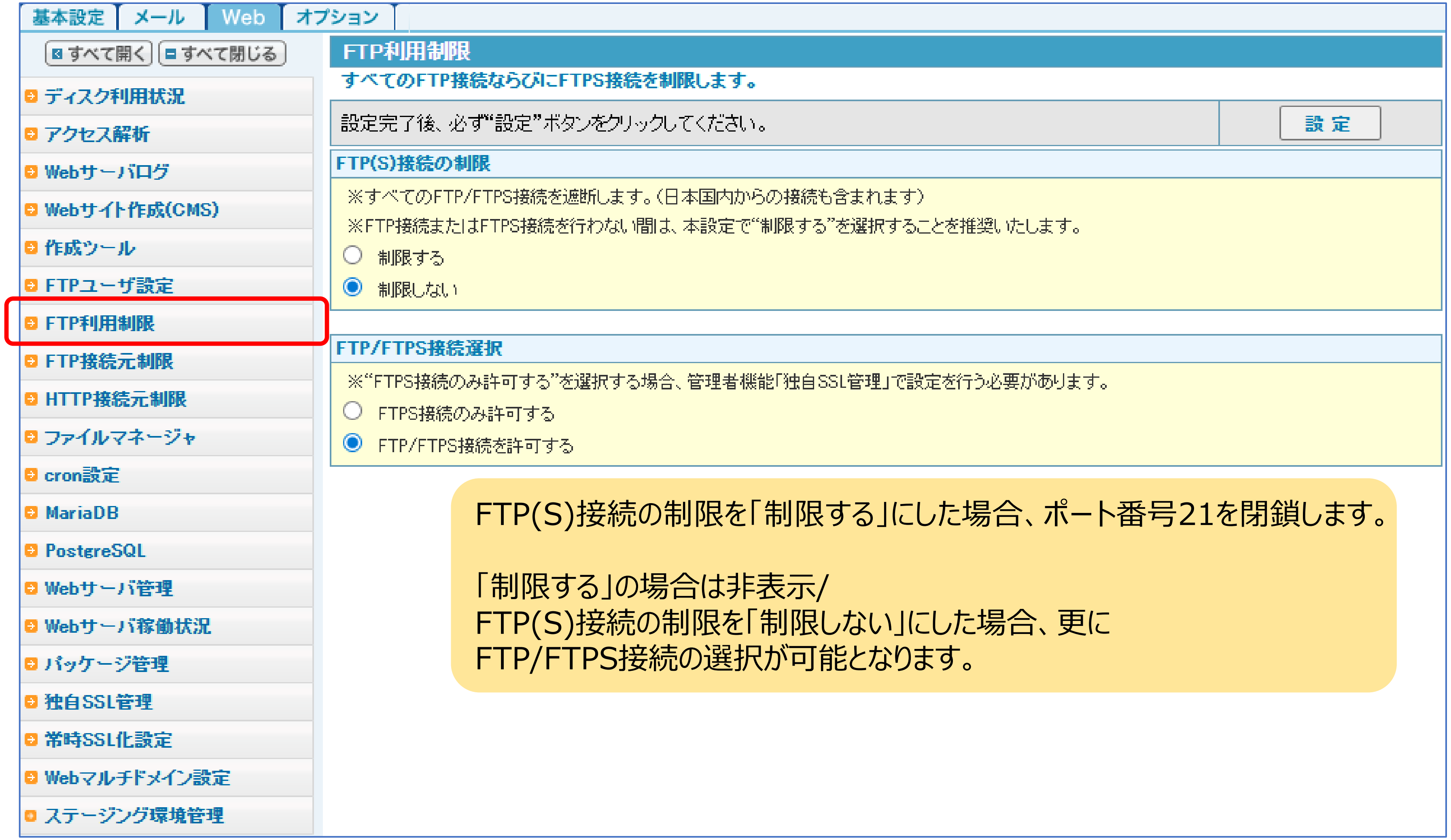
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

新機能

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

1:FTP利用制限

FTPを利用しない時には接続を制限し、必要な時にだけFTP(S)を解放できる機能が追加されます。



FTP(S)接続の制限を「制限する」にした場合、ポート番号21を閉鎖します。

「制限する」の場合は非表示/
FTP(S)接続の制限を「制限しない」にした場合、更に
FTP/FTPS接続の選択が可能となります。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

1:FTP利用制限　組み合わせ

FTPの接続については、「FTP利用制限」と「FTP接続元制限」の組み合わせで設定されます。

①「FTP利用制限」で制限の有無を設定
②「FTP接続元制限」で「FTP利用制限」＝制限をしない場合の詳細設定

制御の順番は参照URLのフローをご確認ください。

参照URL　https://dw.alpha-prm.jp//support/help/mail_p_kanri_016.html

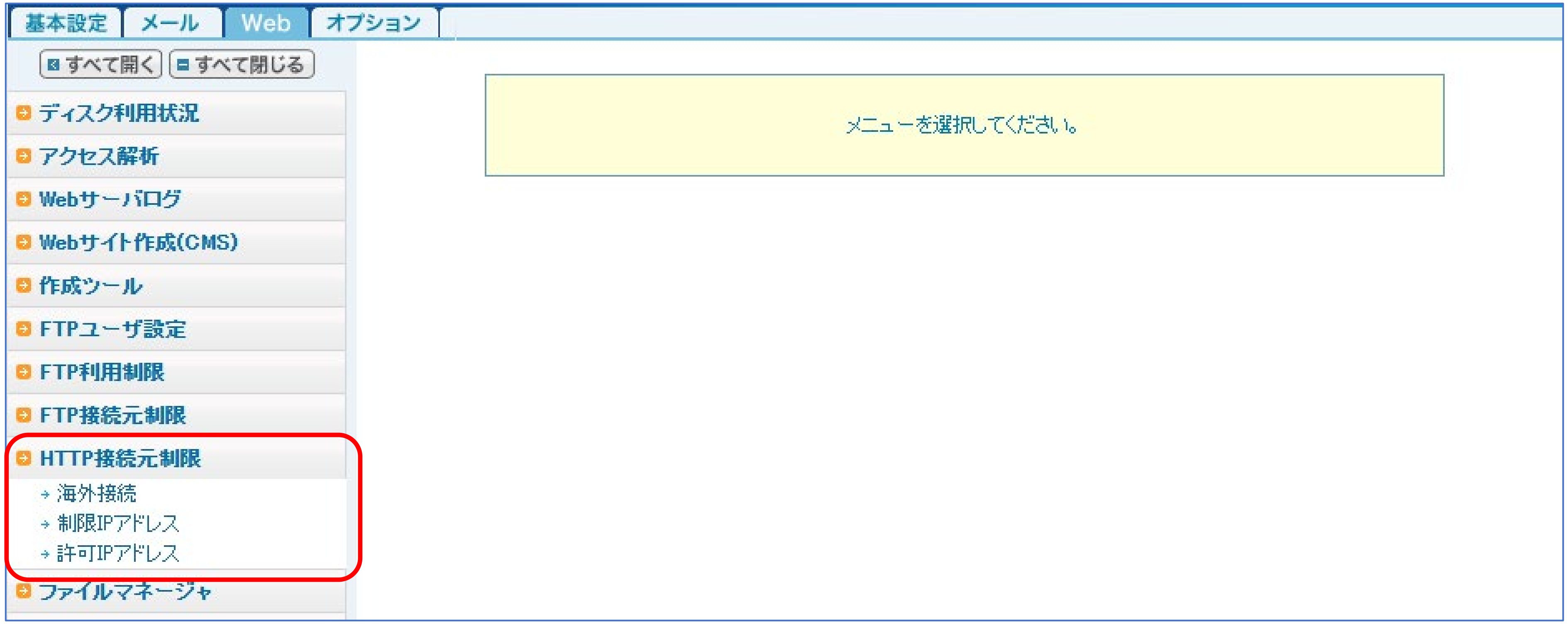
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

2:HTTP接続元制限

お客様が公開しているWebサイトに対して、HTTP接続元制限の機能が追加されます。
WAFを導入される際に、WAF経由の接続のみ許可するという制限設定も可能となります。
以下の３つのサブメニューの設定を組み合わせてご利用いただきます。

・海外接続
・制限IPアドレス
・許可IPアドレス

この設定はお客様サイトへの全アクセスに適用されます。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

2:HTTP接続元制限

3つの設定の優先順位と、設定時の結果は以下のとおりです。
【優先順位：許可IP＞制限IP＞海外接続】

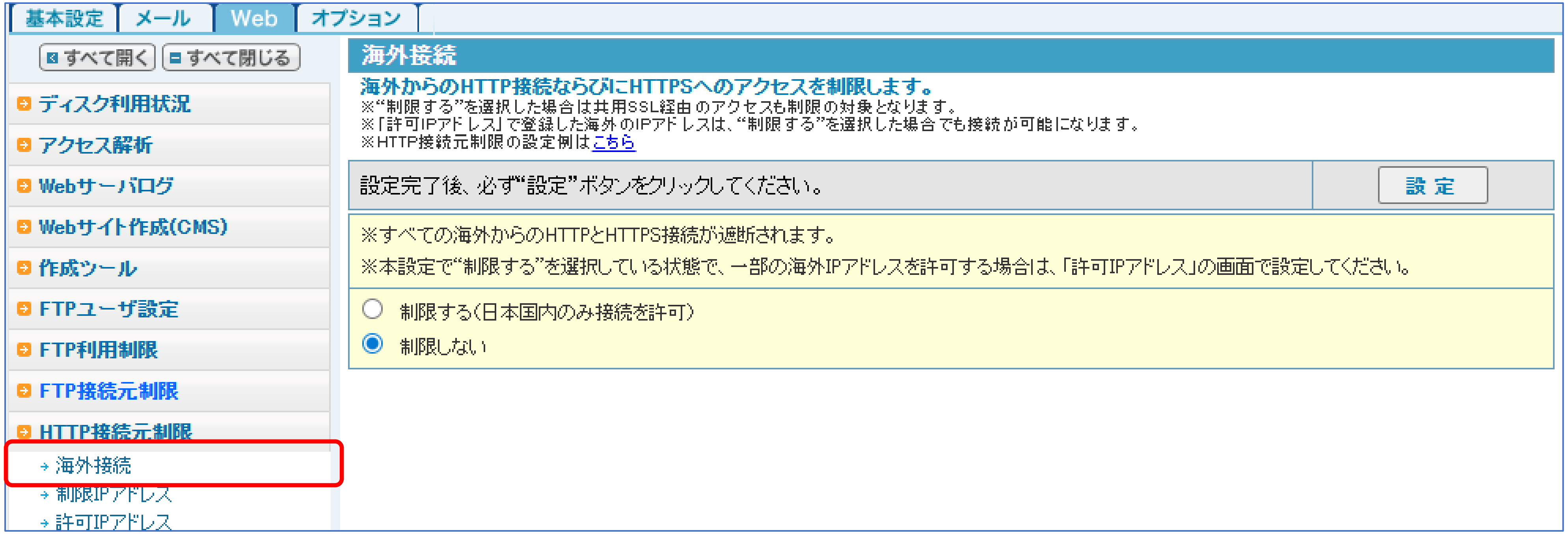
参照URL https://dw.alpha-prm.jp//support/help/mail_p_kanri_017.html
https://dw.alpha-prm.jp//support/help/mail_p_kanri_0816_9.html

№	許可IP	制限IP	海外接続	接続結果
1	設定あり	制限なし	設定なし	全て○
2			制限あり	国内IPまたは許可IP○
3		制限あり	設定なし	制限IP以外○
4			制限あり	許可IPまたは（国内IPかつ制限IP以外）○
5		全てのIP	設定なし	許可IPのみ○
6			制限あり	許可IPのみ○
7	設定なし	制限なし	設定なし	全て○
8			制限あり	国内IPからのみ○
9		制限あり	設定なし	制限IP以外○
10			制限あり	国内IPかつ制限IP以外○
11		全てのIP	設定なし	全て×
12			制限あり	全て×

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

2:HTTP接続元制限(海外接続)

FTP接続元制限と同じリストを使用し、海外IPからのHTTP/HTTPS接続制限機能が追加されます。
対象ポート番号は80、443です。



・接続制限する国や地域の選択はできません。
・共用SSL経由も制限対象となります。
・ここで「制限する」を選択しても、「許可IPアドレス」で登録した海外IPアドレスからは接続が可能になります。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

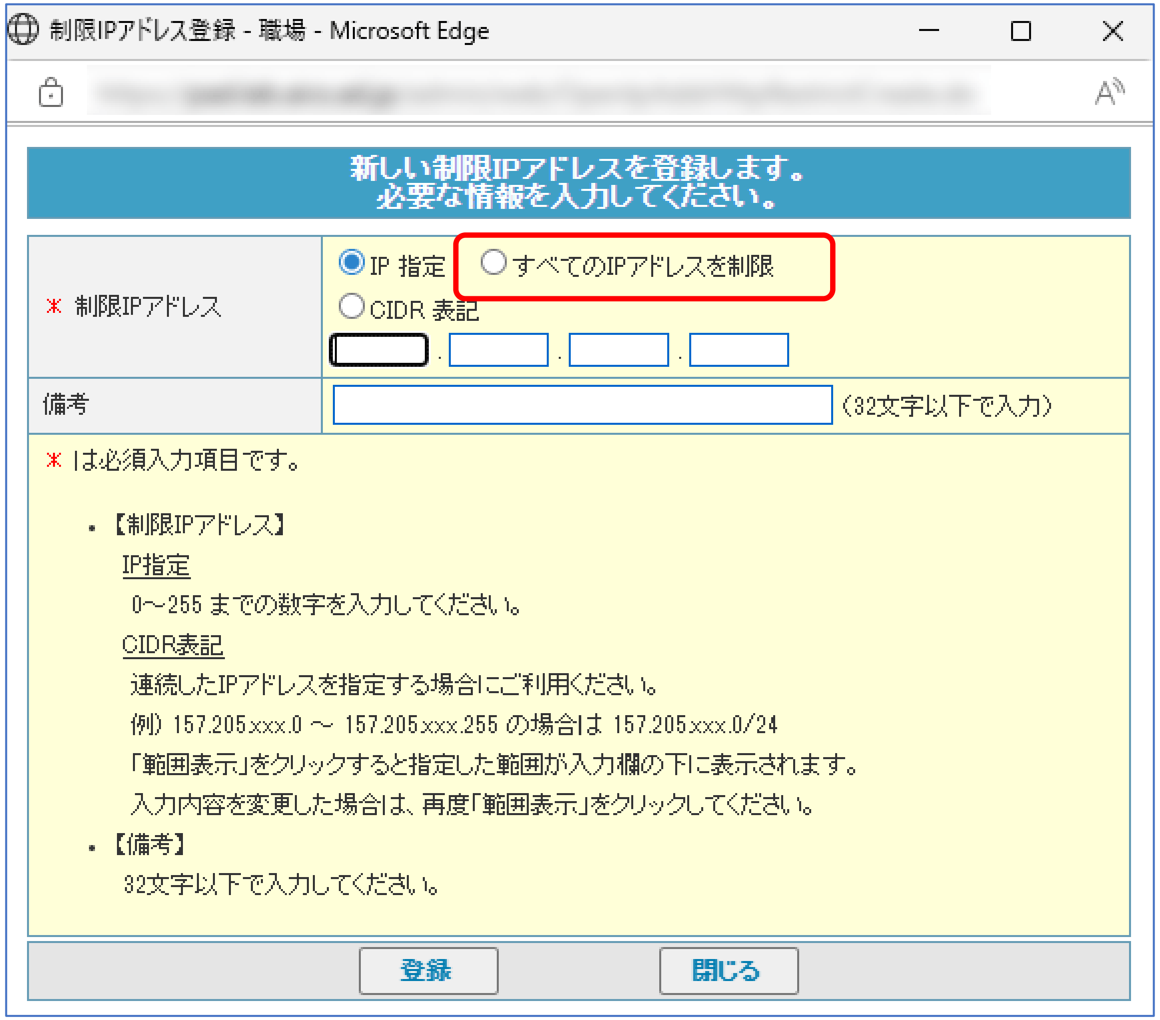
2:HTTP接続元制限(制限IPアドレス)

任意で制限したいIPを設定（上限100行まで）することでHTTP/HTTPS接続制限機能が追加されます。
すべてのIPからの接続制限も設定が可能です。
対象ポート番号は80、443です。

・すべてのIPアドレスを選択した場合は共用SSL経由も制限対象となるので、ファイルマネージャーも接続ができなくなります。
・ここで制限IPアドレスを設定しても、「許可IPアドレス」で登録したIPアドレスからは接続が可能になります。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

2:HTTP接続元制限(制限IPアドレス)

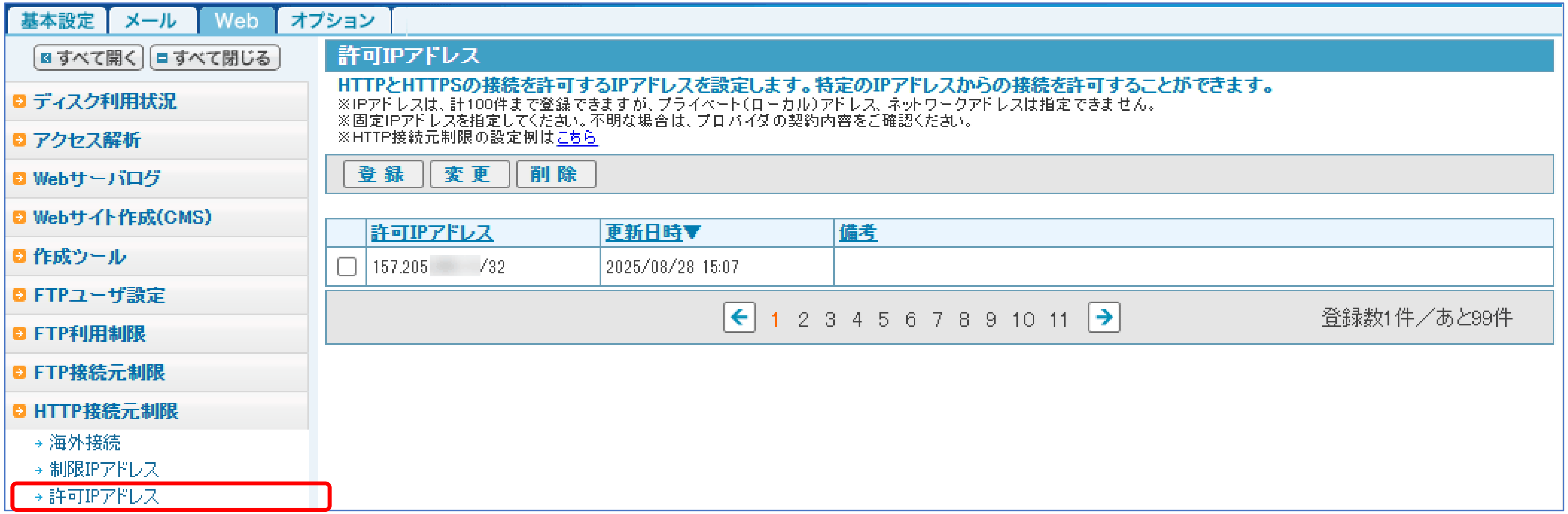


・今後WAFを導入され、WAF経由の接続のみ許可する場合は、「許可IPアドレス」の画面でWAFのIPアドレスを登録してから、この画面で「すべてのIPアドレスを制限」を設定します。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

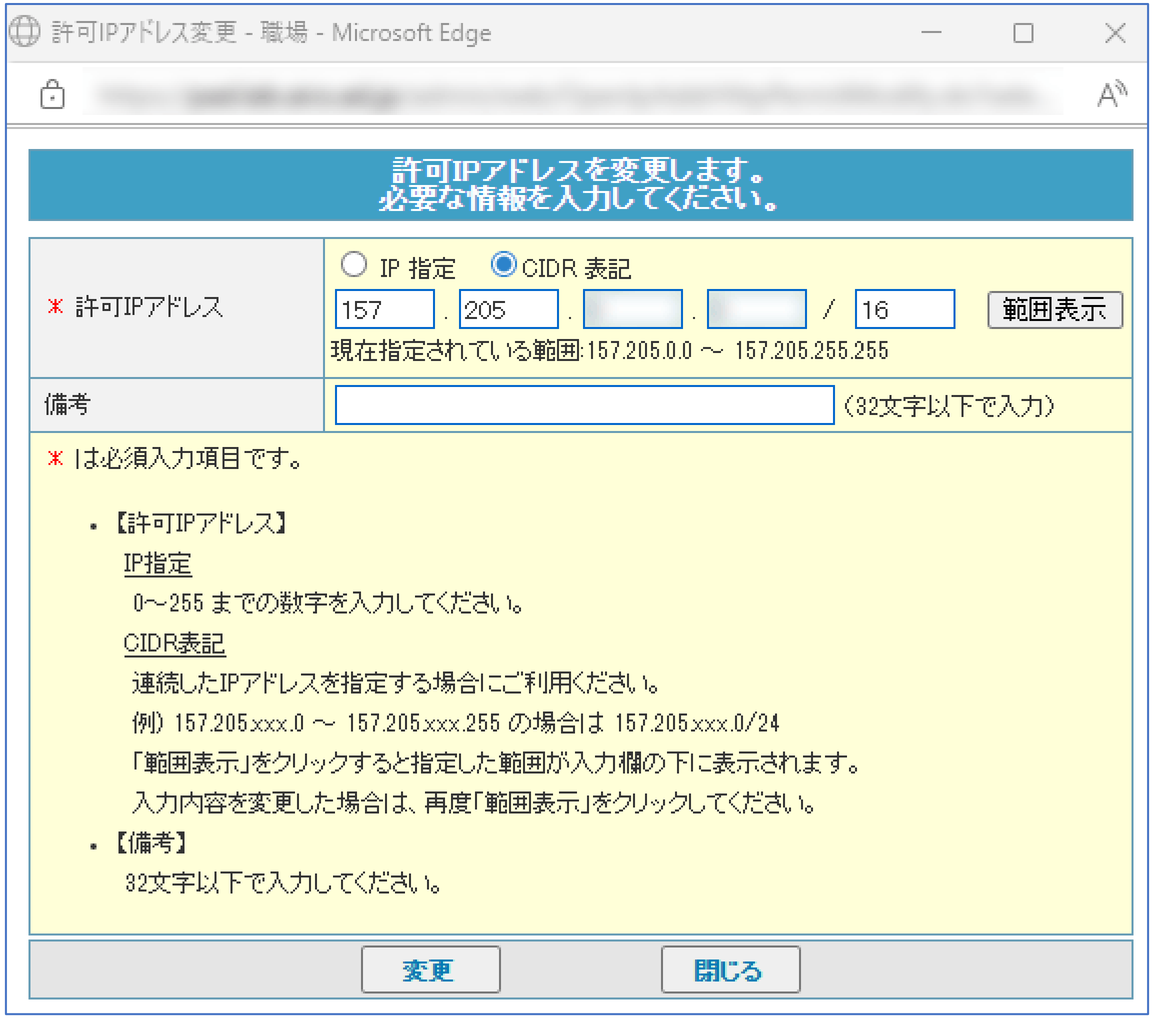
2:HTTP接続元制限(許可IPアドレス)

海外接続や制限IPアドレスで設定したIPアドレス制限を解除するIPアドレスを設定（上限100行まで）することでHTTP/HTTPS接続可能となる機能が追加されます。
対象ポート番号は80、443です。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

2:HTTP接続元制限(許可IPアドレス)

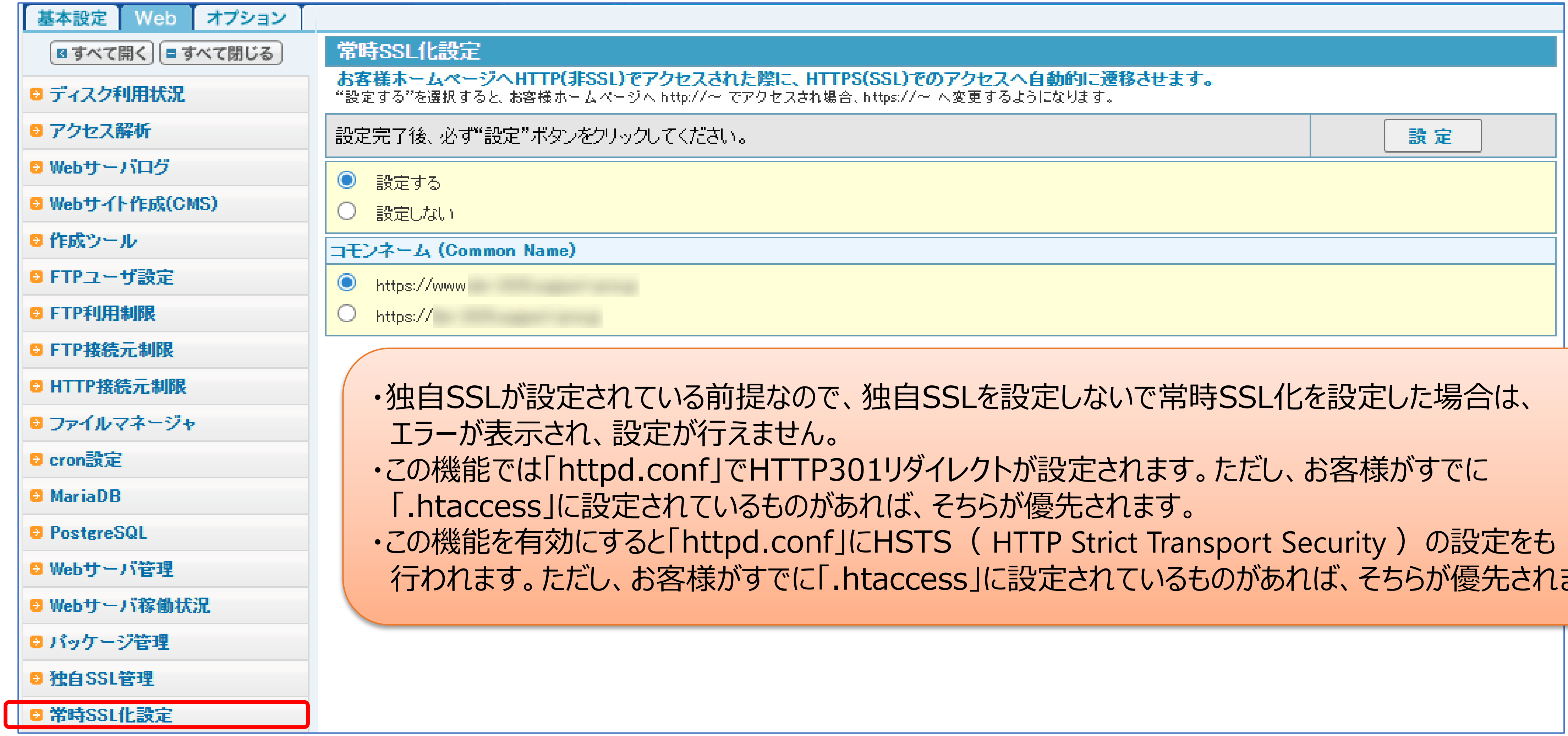


・今後WAFを導入され、WAF経由の接続のみ許可する場合は、この画面でWAFのIPアドレスを登録してから、「制限IPアドレス」の画面で「すべてのIPアドレスを制限」を設定します。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

3:常時SSL化設定

独自SSL証明書を設定されているお客様のために、簡単に常時SSL化できる機能が追加されます。



・独自SSLが設定されている前提なので、独自SSLを設定しないで常時SSL化を設定した場合は、エラーが表示され、設定が行えません。
・この機能では「httpd.conf」でHTTP301リダイレクトが設定されます。ただし、お客様がすでに「.htaccess」に設定されているものがあれば、そちらが優先されます。
・この機能を有効にすると「httpd.conf」にHSTS（ HTTP Strict Transport Security ）の設定をも行われます。ただし、お客様がすでに「.htaccess」に設定されているものがあれば、そちらが優先されます。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

3:常時SSL化設定

「.htaccess」と「httpd.conf」の違い
「.htaccess」
・特定のディレクトリ単位で設定を適用。
・サブディレクトリにも継承されます。
・お客様で設定が可能。

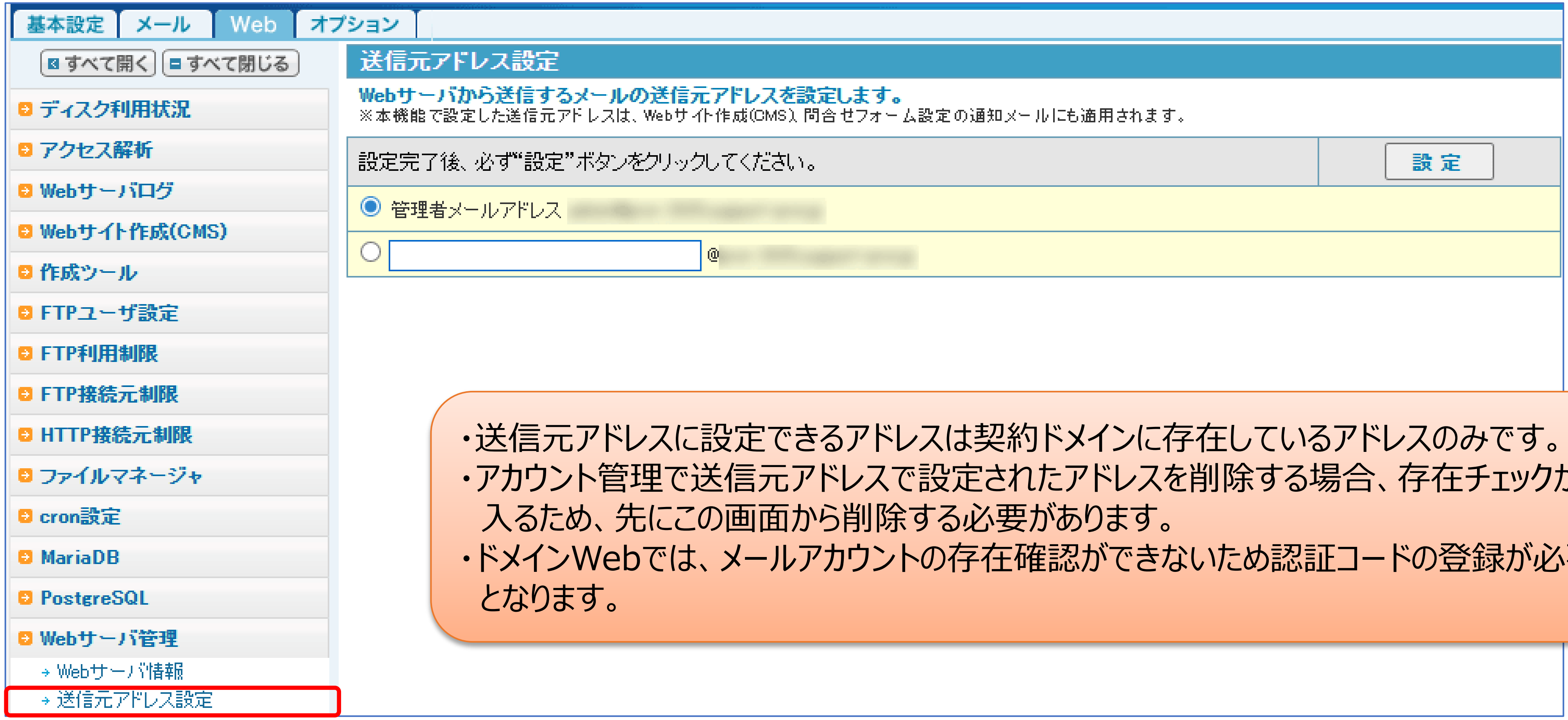
「httpd.conf」
・Apache のメイン設定ファイル。
・サーバー全体、または VirtualHost 単位で設定。
・お客様では設定不可。

HSTS（ HTTP Strict Transport Security ）
・一度サイトにアクセスしたブラウザは、次回以降HTTPSで接続します。（設定した有効期限max-ageを過ぎたらリセットされ、その後にアクセスされたところを起点に再びHTTPS接続になります）
設定値：Header always set Strict-Transport-Security "max-age=31536000; includeSubdomains; preload“
・ HTTPSへのリダイレクト不要（ブラウザが自動でHTTPSに切り替える）。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

今までWebサーバから送信されるメールの送信元アドレスは管理者アドレス固定となっていましたが、契約ドメイン内の任意のアドレスを送信元アドレスに設定できる機能が追加されます。
ここで設定された送信元アドレスはWebサイト作成（CMS）、問合せフォーム設定の通知メールにも利用されます。



・送信元アドレスに設定できるアドレスは契約ドメインに存在しているアドレスのみです。
・アカウント管理で送信元アドレスで設定されたアドレスを削除する場合、存在チェックが入るため、先にこの画面から削除する必要があります。
・ドメインWebでは、メールアカウントの存在確認ができないため認証コードの登録が必要となります。

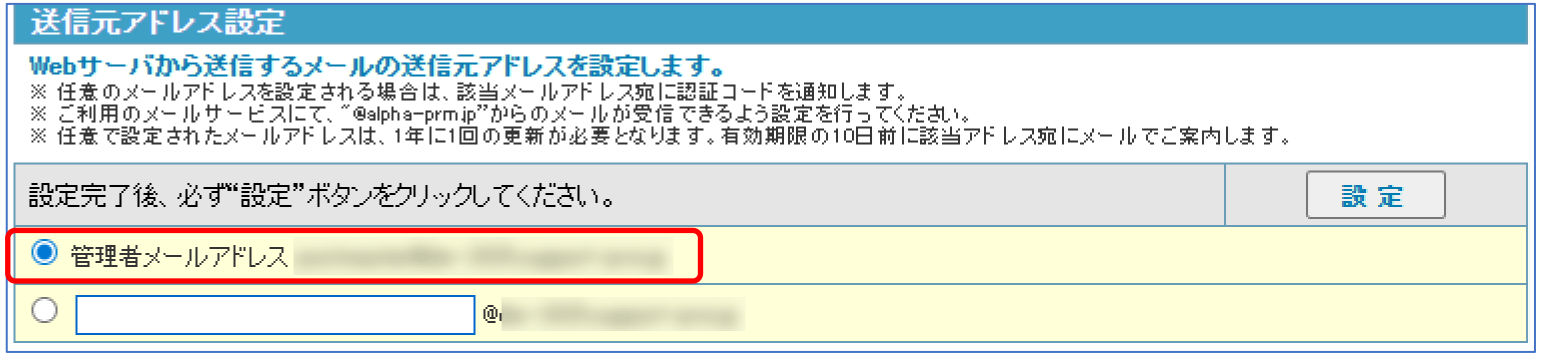
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

ドメイン/webでは設定された送信元アドレスの存在確認を行うことができません。そのため、1年に1回の存在確認を行っていただきます。

・送信元アドレスを任意のアドレスに変更する場合、設定されたアドレス宛に認証コードのメールが送信されますので、メールに記載された認証コードの登録が必要となります。
・認証コードの有効期限は1年間となりますので、1年に1回の更新が必要となります。
・有効期限の10日前に該当のアドレス宛にメールでお知らせが届きます。
・更新が行われない場合、送信元アドレスは管理者メールアドレスに変更されます。

〇初期設定時は管理者メールアドレスになっています

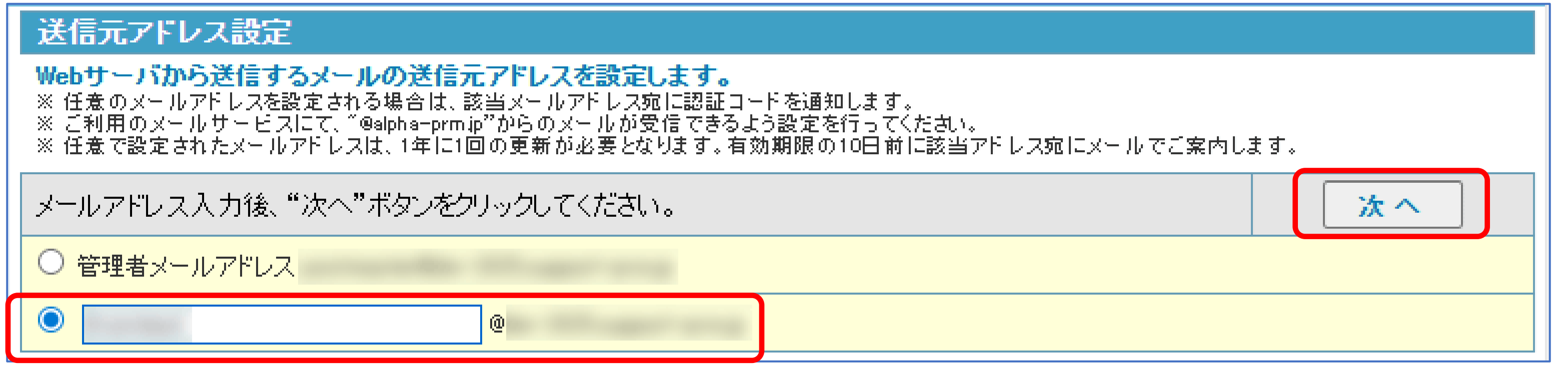


Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

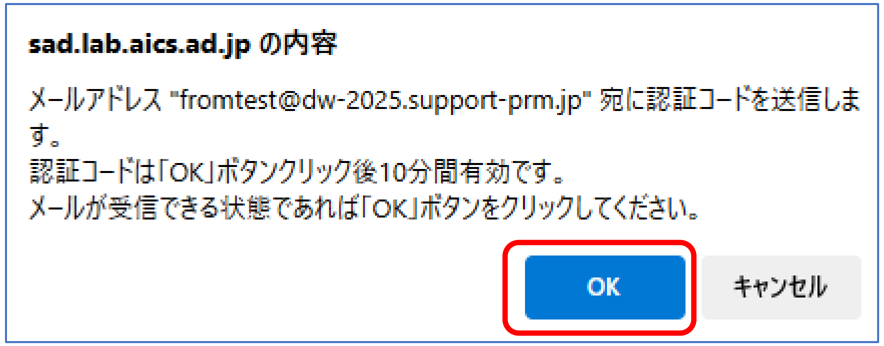
4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

〇任意アドレス設定時

1：契約ドメイン内で任意アドレスを入力し、「次へ」ボタンをクリックします



2：入力したアドレス宛に認証コードが送信されますので、メールが受信できる状態であれば「OK」ボタンをクリックします。

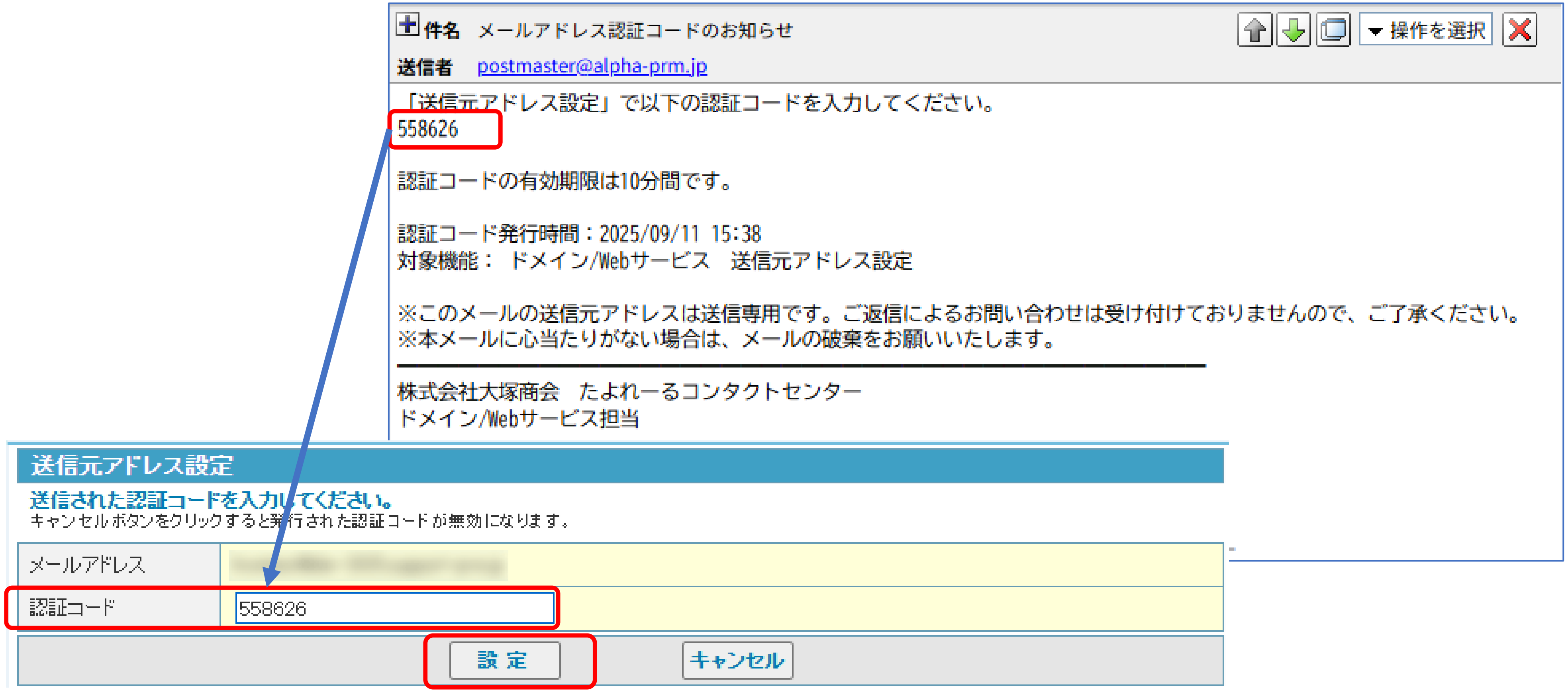


「postmaster@alpha-prm.jp」からのメールが受信できるよう設定を行ってください。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

〇任意アドレス設定時

3：メールに記載された認証コードを入力し、「設定」ボタンをクリック

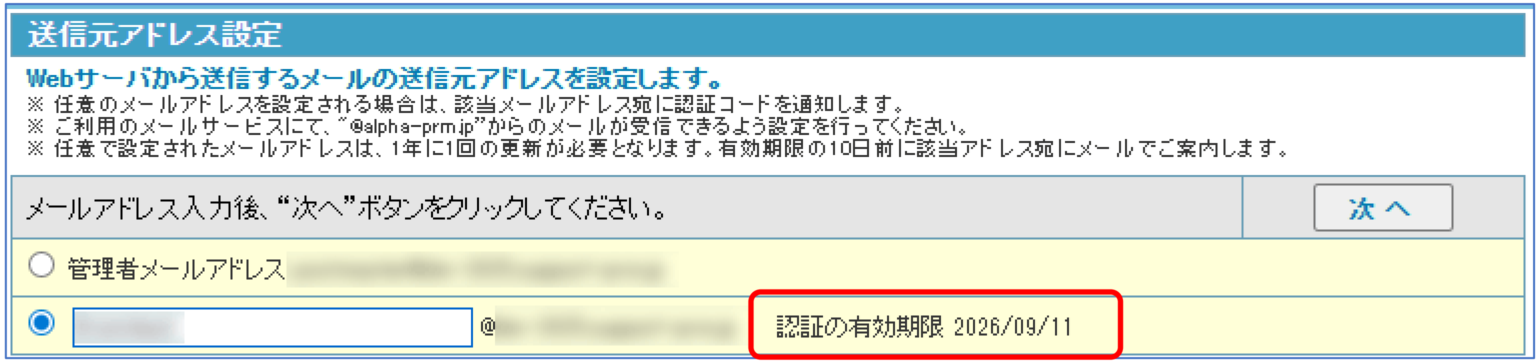


Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

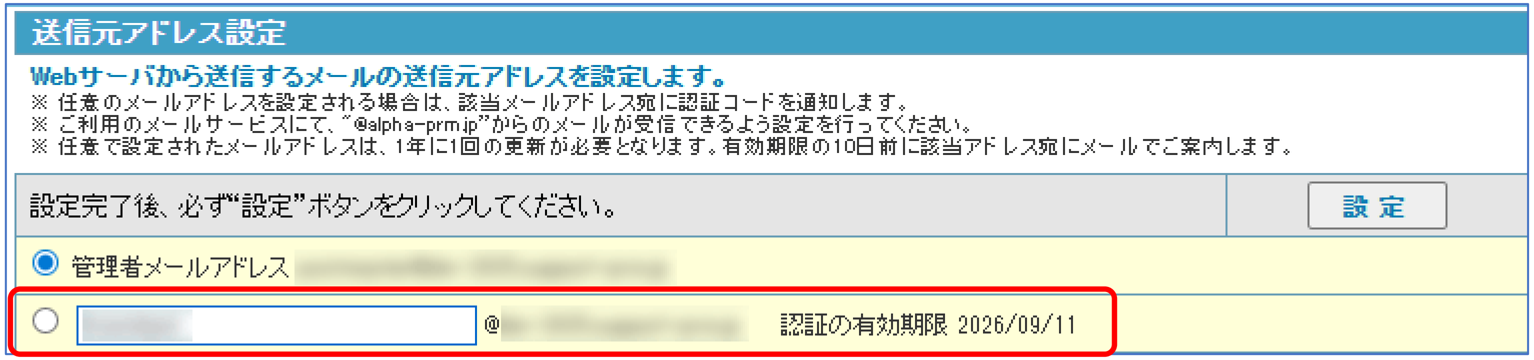
〇任意アドレス設定時

4：設定が完了すると任意アドレスの横に認証コードの有効期限が表示されます。



〇任意アドレスから管理者メールアドレスへ変更時

有効期限内に管理者メールアドレスに変更しても任意アドレスの表示は残ったままです。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

〇認証コードの更新

1：有効期限10日前に任意のアドレス宛てに案内メールが届きます。

From : postmaster@alpha-prm.jp
Subject : 送信元アドレス設定 認証の有効期限 10日前のお知らせ
To : （任意指定メールアドレス）

お客様各位

たよれーる Microsoft 365　ドメイン/Webサービスをご利用いただきありがとうございます。

Webサーバから送信するメールの「送信元アドレス設定」の有効期限が10日前となりましたので、
お知らせいたします。
お客様にはお手数をおかけいたしますが、該当アドレスを継続してご利用される場合は、
ドメイン/Webサービスの会員サイトよりログインしていただき、「送信元アドレス設定」機能にて、
認証コードの発行と入力をお願いいたします。

認証の有効期限が過ぎますと、自動的に送信元アドレスは"管理者メールアドレス"に変更されますので、

お早めにお手続きをお願いいたします。

登録されているメールアドレス：（任意指定メールアドレス）
メールアドレス認証の失効日：yyyy/mm/dd hh:mm
対象機能： ドメイン/Webサービス　送信元アドレス設定

2：送信元アドレス設定から任意アドレスの再設定をしてください。

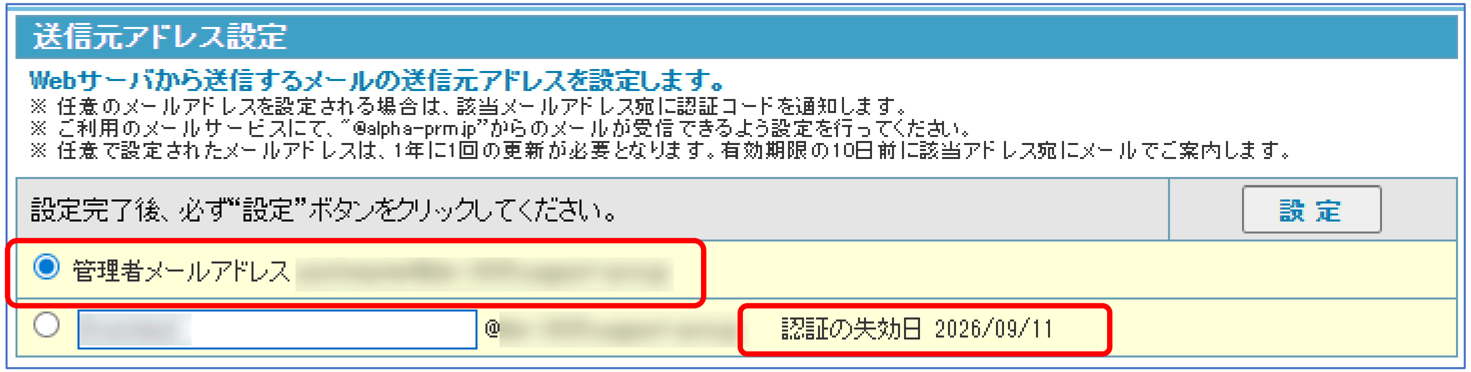
「postmaster@alpha-prm.jp」からのメールが受信できるよう設定を行ってください。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

4:Webサーバ管理＞送信元アドレス設定

〇認証コードの更新

3：期限内に更新が完了しないと認証が失効して、送信元アドレスが管理者メールアドレスに変更されます。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理

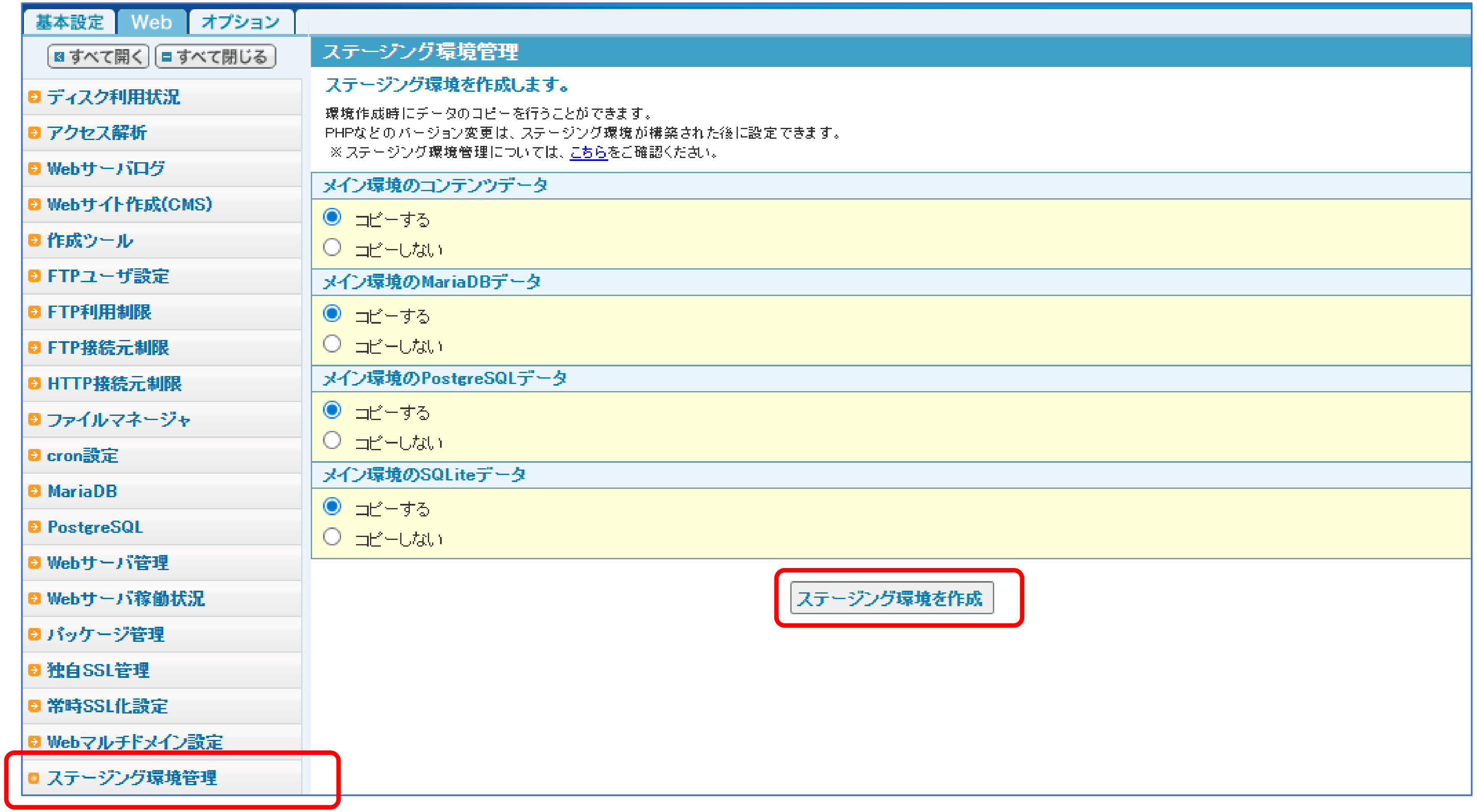
コンテンツやDBのデータを別サーバにコピーして動作確認を行えるよう、ステージング機能が追加されます。

・ステージング環境で公開するコンテンツへのアクセスはプロキシサーバー経由で行います
・ステージング環境の容量は最大10GBまで
・有効期間は90日間
・ステージング環境では行えない機能があります
・本番環境からステージング環境へのデータコピーが行えます
・Webサーババージョン2から移行されるお客様の場合、Webサーババージョン2の環境が削除されるまでステージング環境の作成は行えません。（移行中は利用できません）

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　環境作成(環境存在しない場合)

ステージング環境がない状態で「ステージング環境管理」を選択すると、ステージング環境作成の画面になります。
ここで、ステージング環境へコピーしたい内容を選択し、ステージング環境の作成を行います。

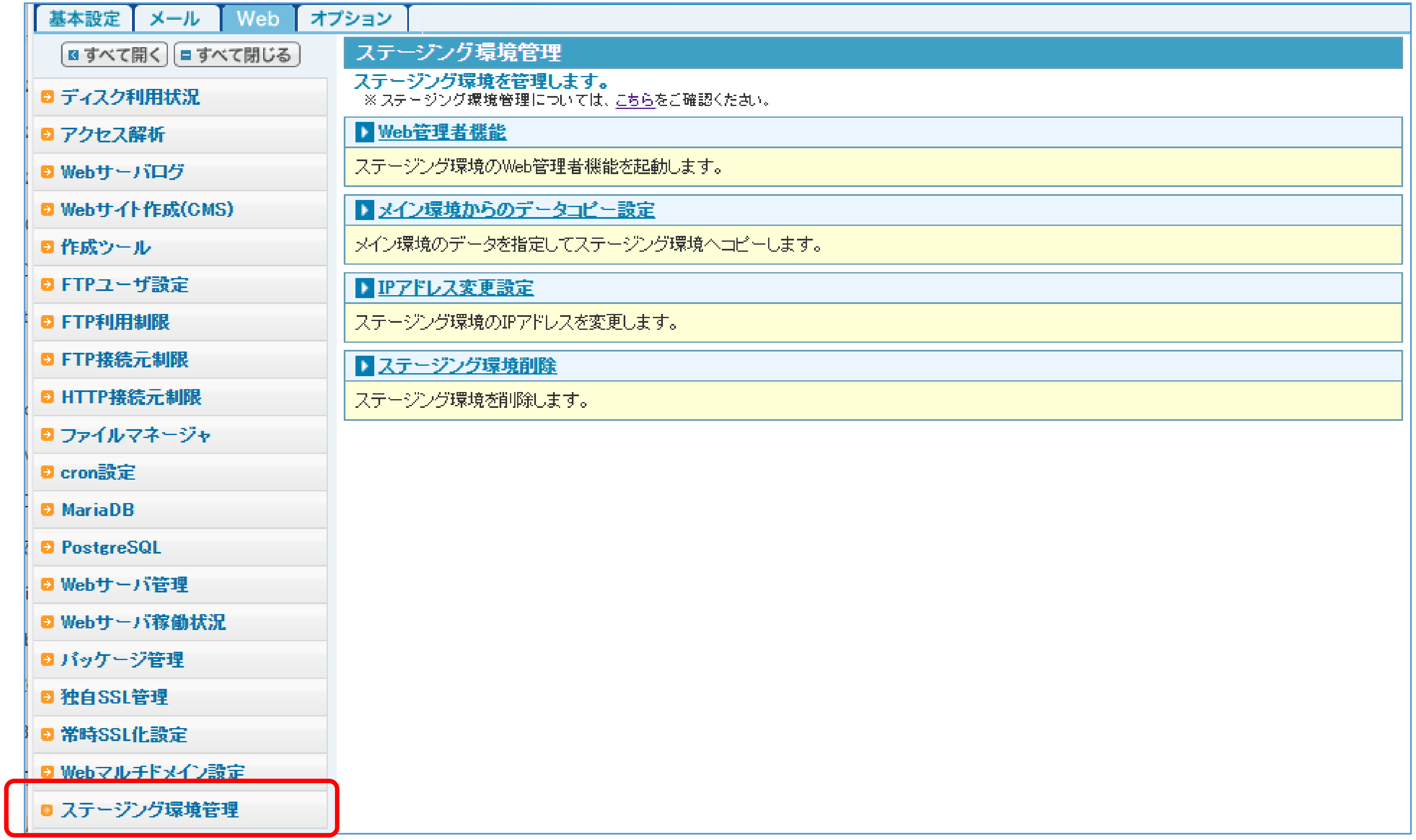


PostgreSQLはWebサーババージョン2からの移行された場合のみ表示されます。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

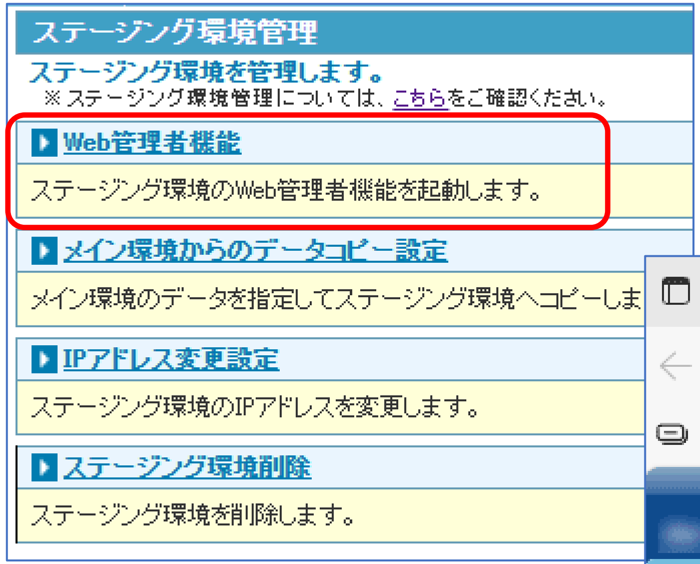
5:ステージング環境管理　(環境存在する場合)

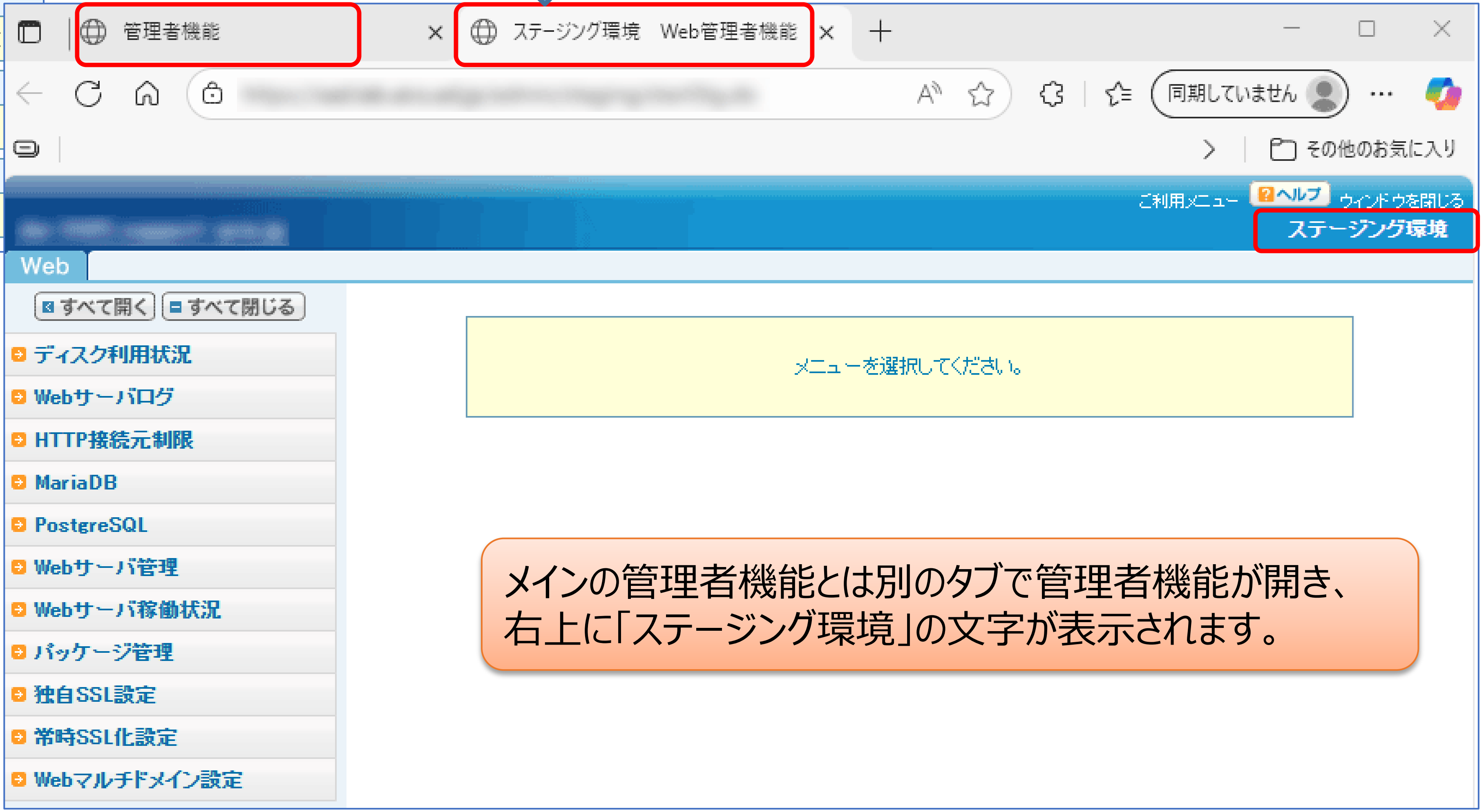
ステージング環境が存在する状態で「ステージング環境管理」を選択すると、ステージング環境に対する操作メニューが表示されます。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(Web管理機能)





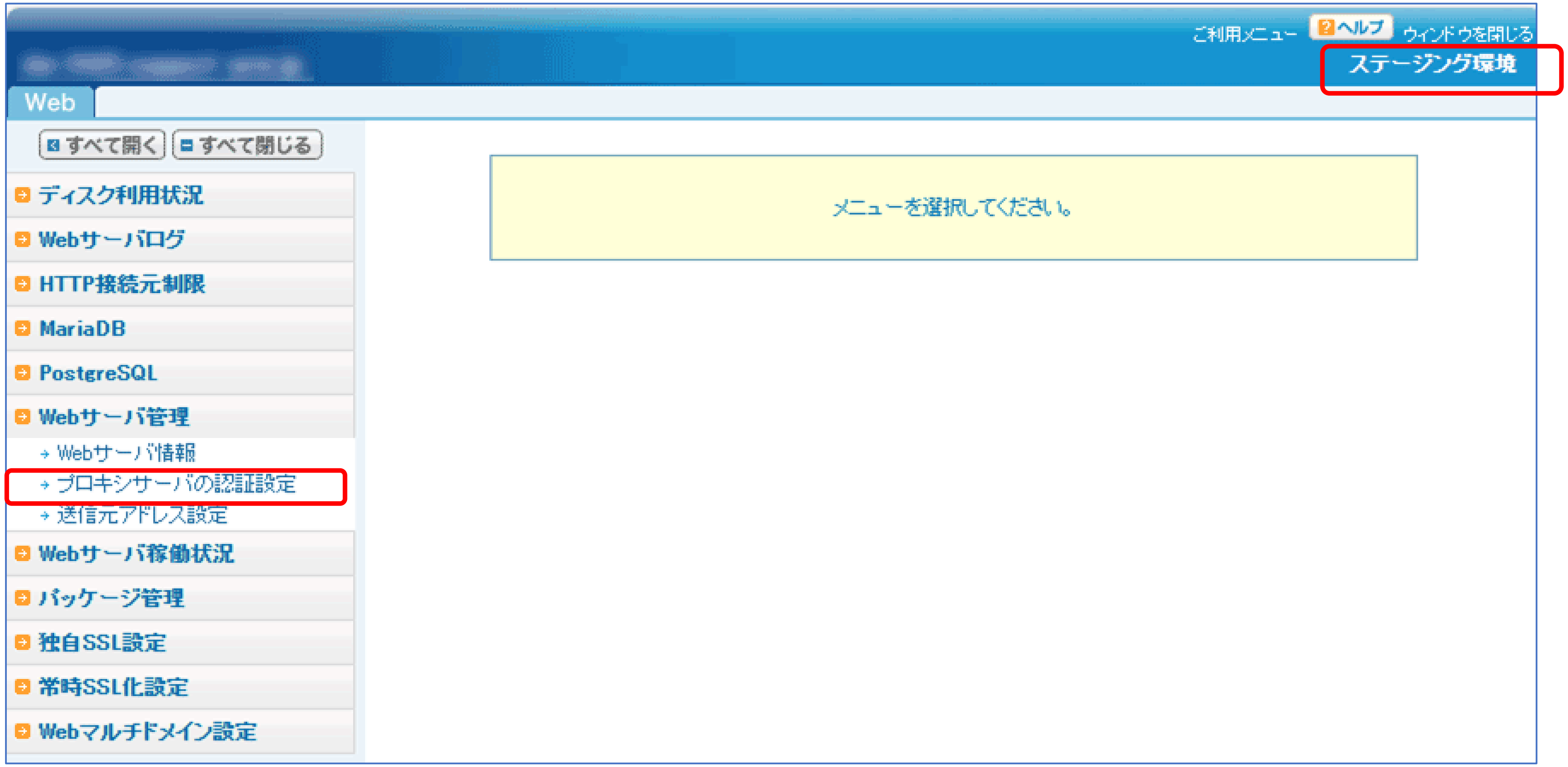
メインの管理者機能とは別のタブで管理者機能が開き、
右上に「ステージング環境」の文字が表示されます。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(ステージング環境への接続)

ステージング環境で公開するコンテンツへのアクセスはプロキシサーバー経由で行います。

【手順】
1：ステージング環境＞Web管理者機能＞Webサーバ管理＞プロキシサーバの認証設定

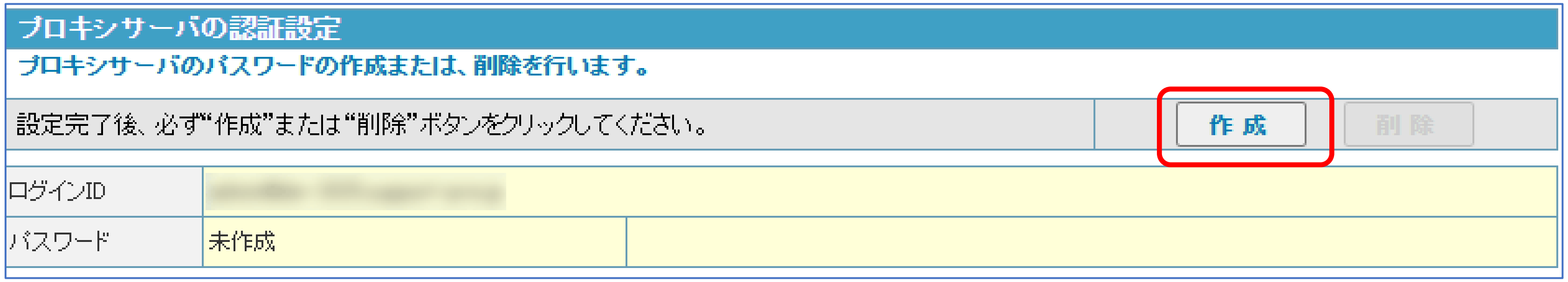


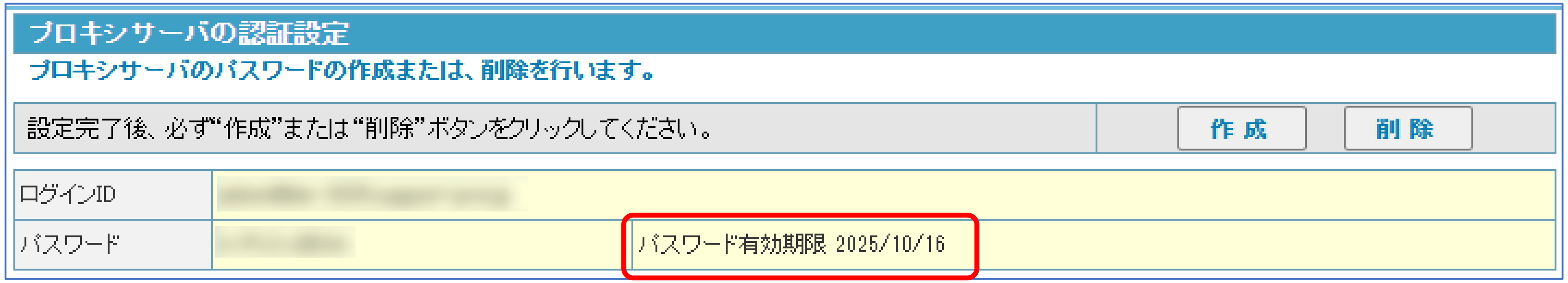
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(ステージング環境への接続)

ステージング環境で公開するコンテンツへのアクセスはプロキシサーバー経由で行います。
プロキシサーバーの利用には認証が必要になり、セキュリティのためパスワードは有効期限を過ぎると再作成が必要になります。

【手順】
2：プロキシサーバのパスワード作成を行います。
パスワードが未作成の場合は「作成」ボタンより、パスワードの作成を行います。





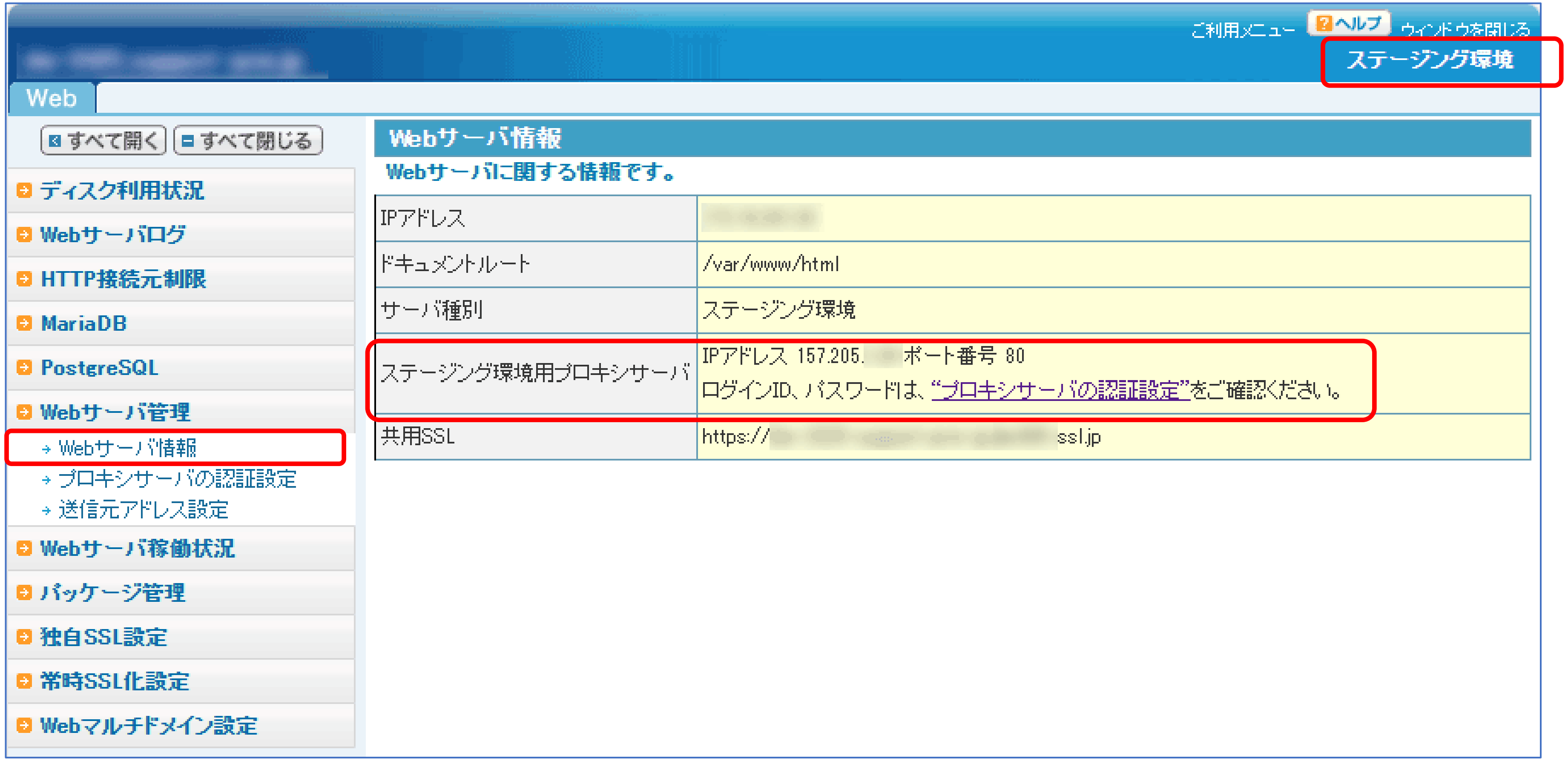
パスワードの有効期限は30日です。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(ステージング環境への接続)

【手順】

3：ステージング環境＞Web管理者機能＞Webサーバ管理＞Webサーバ情報
　ステージング環境用プロキシサーバの情報を確認します。



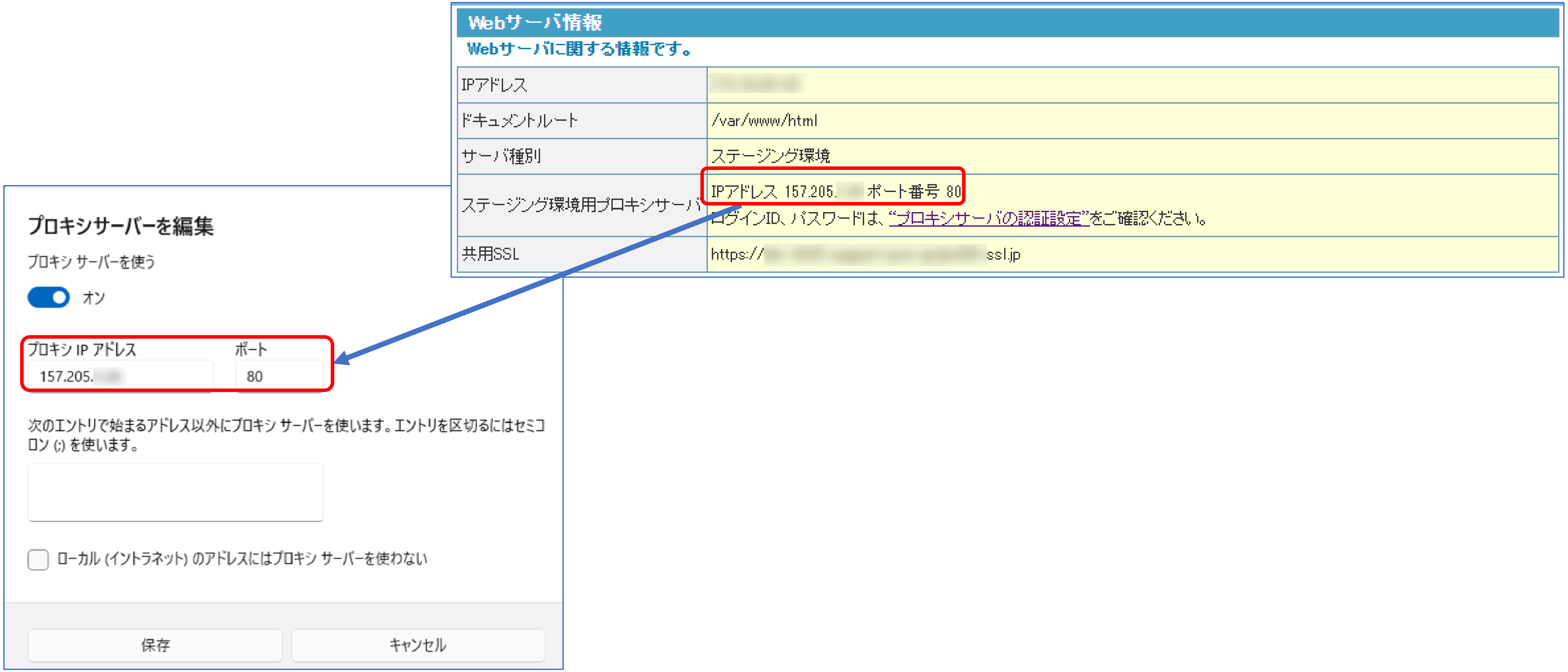
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(ステージング環境への接続)

【手順】

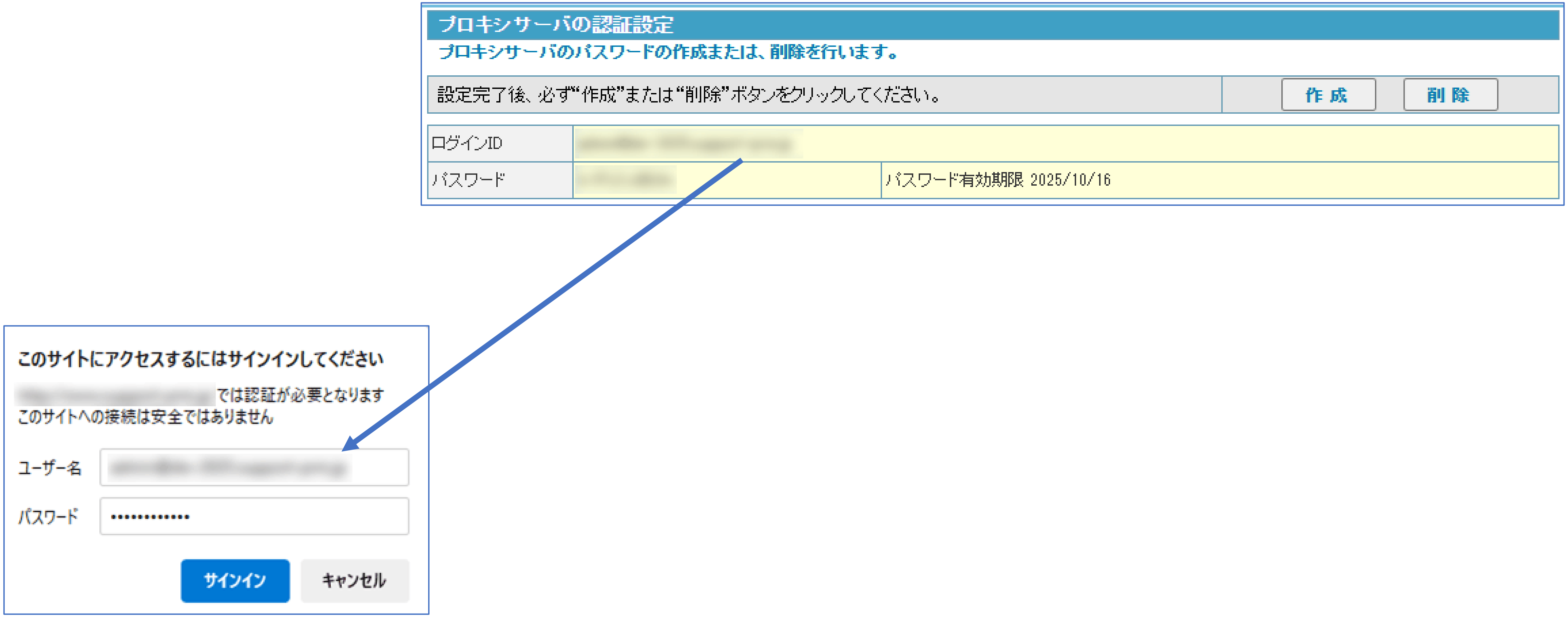
4：クライアントPCのプロキシサーバの設定を行います。

　　クライアントの設定参照URL：[https://dw.alpha-prm.jp//support/help/ mail_p_kanri_0826_10.html](https://dw.alpha-prm.jp//support/help/mail_p_kanri_0826_10.html)



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

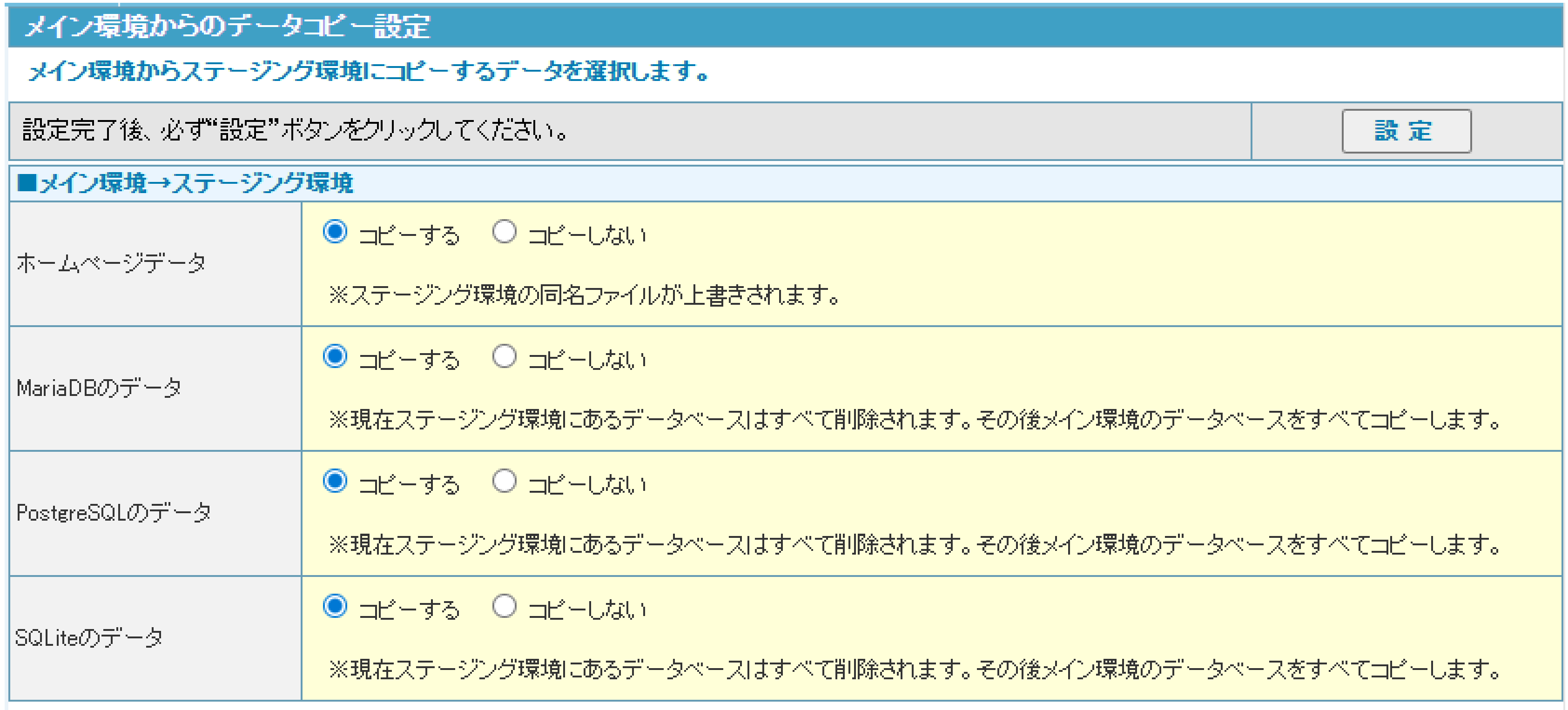
【手順】
5：プロキシサーバ経由でサイトへ接続します。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理　(メイン環境からのデータコピー設定)

ステージング環境作成後にメイン環境で修正したデータを再度、ステージング環境へコピーしたい時に利用します。

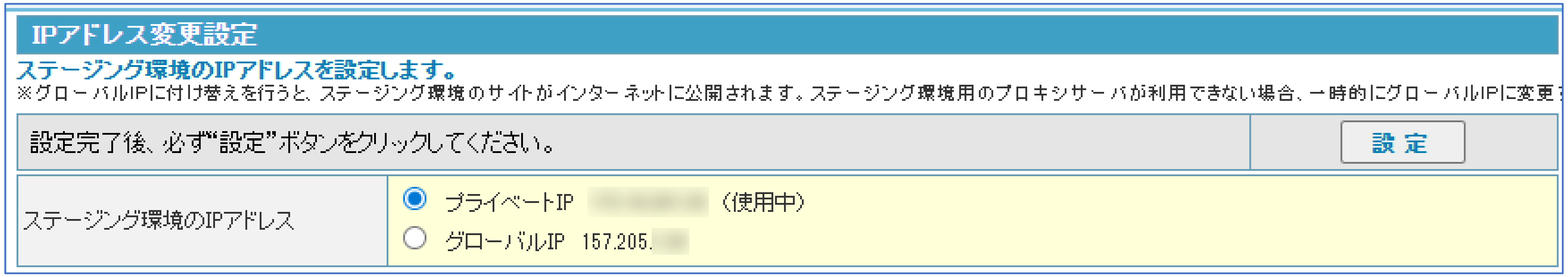


・DBのデータは現在ステージング環境にあるデータベースはすべて削除され、その後メイン環境のデータベースを
すべてコピーします。ステージング環境でのみ、新たに作成されたデータベースは削除されますのでご注意ください。
・PostgreSQLはWebサーババージョン2からの移行された場合のみ表示されます。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理 (IPアドレス設定変更)

社内ポリシー等により、プロキシサーバをご利用いただけないお客様は、メイン環境とステージング環境のIPアドレスの切替を行って、ステージング環境の確認を行っていただけます。

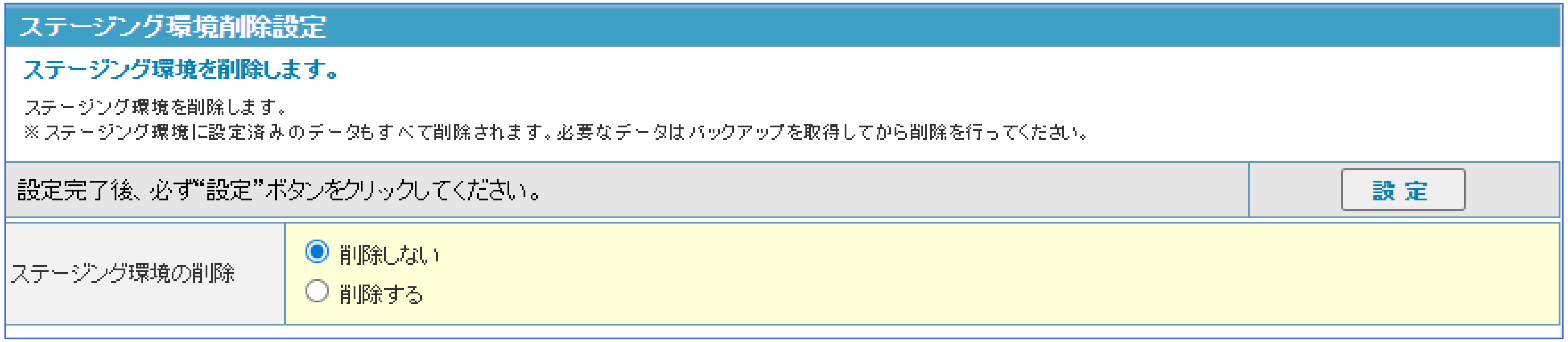


・ステージング環境のIPアドレスをグローバルIPに変更すると、ステージング環境側のサイトが公開されることになるので、ご利用の際には注意が必要です。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

5:ステージング環境管理 (ステージング環境削除設定)

ステージング環境は最長90日間ご利用いただけます。ただし、期限前に環境が不要となった場合には任意のタイミングでステージング環境の削除が行えます。



・この処理を実行すると、設定済のデータもすべて削除されます。削除前に必要なデータはバックアップを取得してから削除してください。

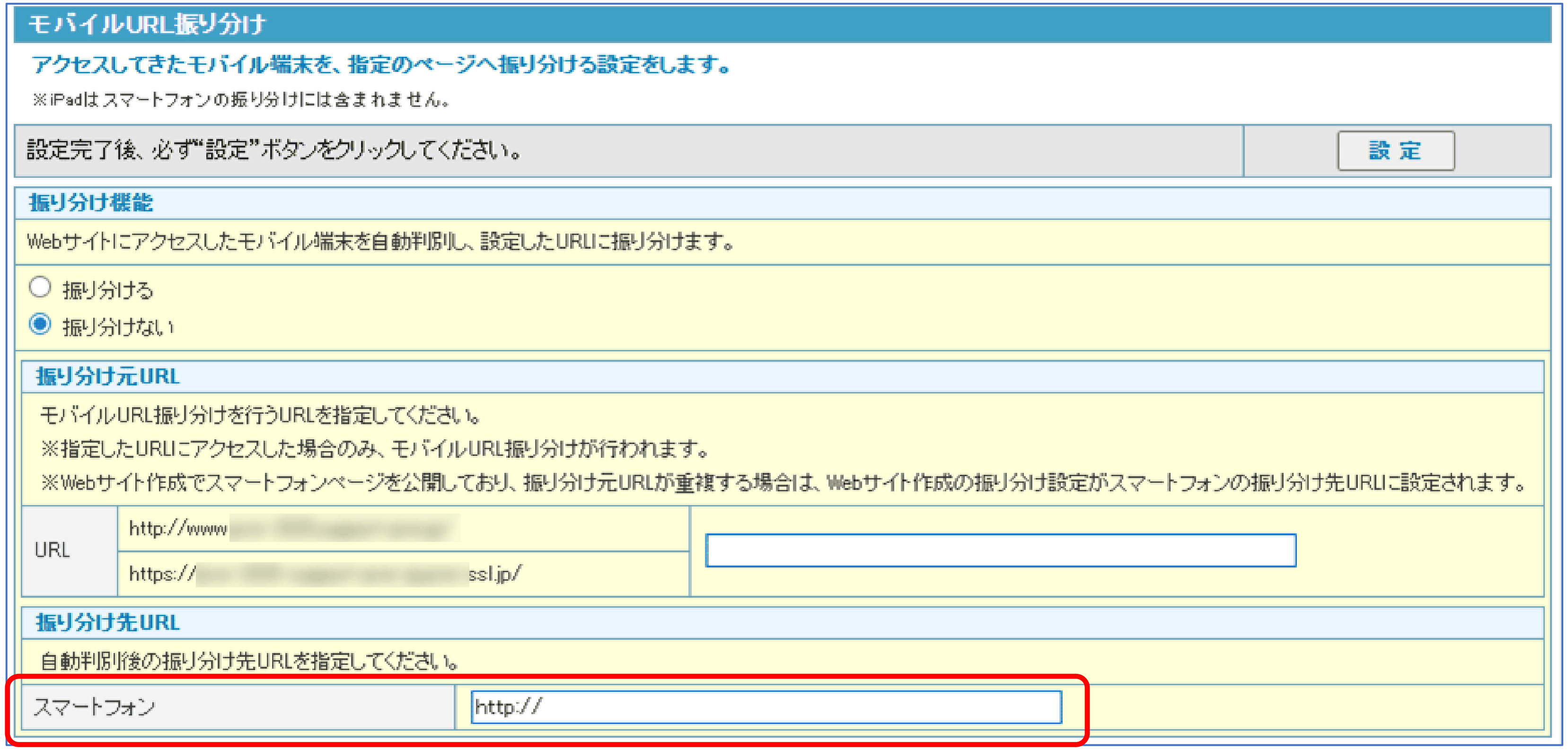
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

仕様変更

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

7:モバイルURL振り分け（docomo,au,softbankの設定欄削除）

3G関連のサービスが終了するため、「作成ツール> モバイルURL振り分け」機能をスマートフォンのみに変更します。



【 Webサーババージョン2でdocomo,au,softbankの設定をしていた場合】
・移行後も.htaccessの設定は引き継がれ、 Webサーババージョン3の画面で操作を行った場合にも.htaccessの設定は残ります。
・ Webサーババージョン3の画面からの修正や削除は行えないため、 必要に応じてお客様に直接.htaccessをメンテナンスしていただきます。

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

8:ファイルマネージャ　登録サイズ上限引き上げ

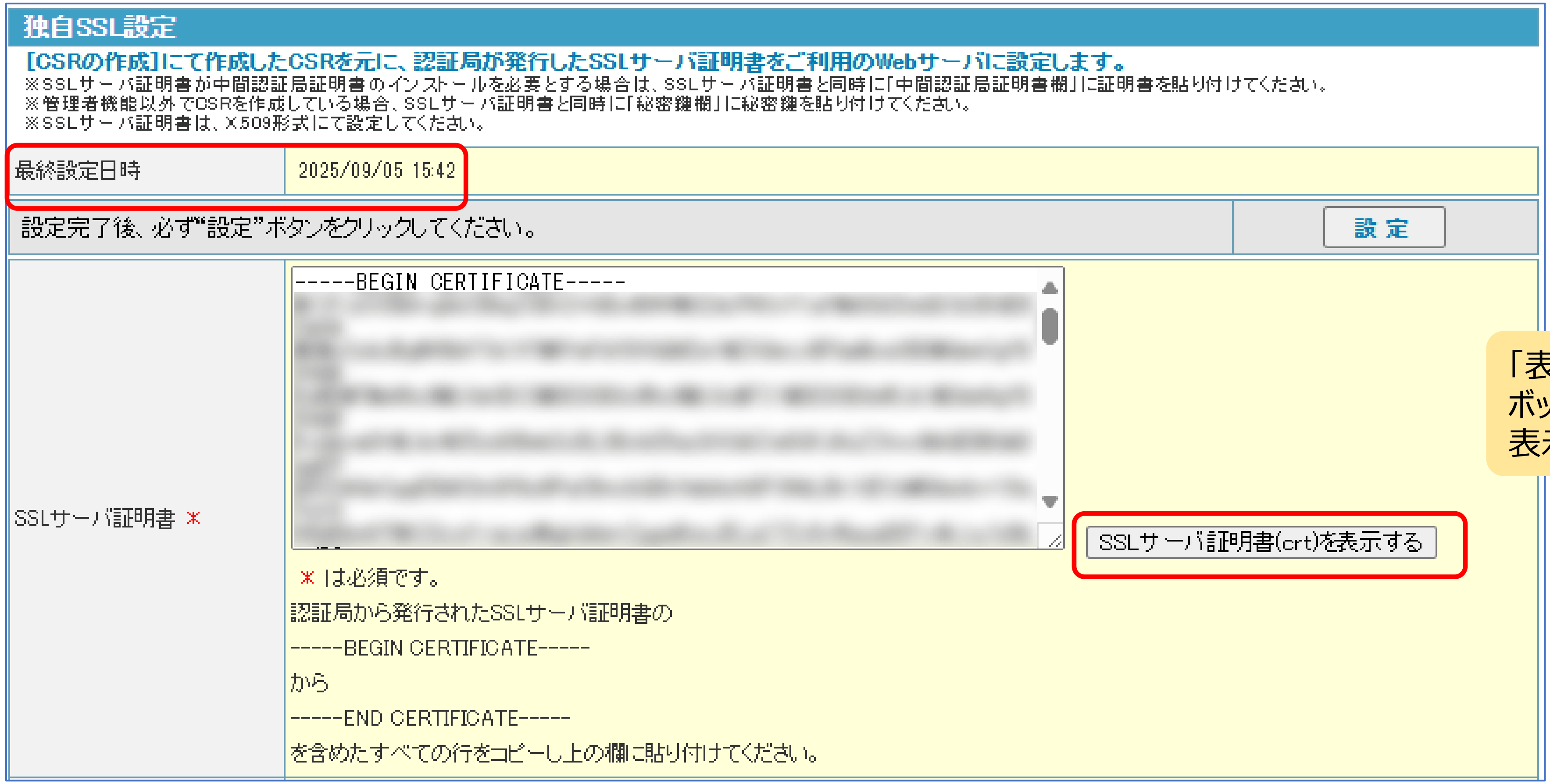
FTPの利用を制限し、ファイルマネージャーでのみ安全にファイル転送を利用したいというニーズにお応えして、
1回のアップロードサイズの上限を引き上げます。

【 Webサーババージョン2 】
　1ファイルあたりの上限：100MB
　1度にアップロードできる合計ファイル数：10ファイル、合計サイズ：100MB
　　　↓
【 Webサーババージョン3 】
　1ファイルあたりの上限：1GB
　1度にアップロードできる合計ファイル数：10ファイル、合計サイズ：10GB※1ファイル1GB上限
　ZIP展開可能なファイル：1GB上限
　ZIP圧縮可能なファイル：4GB上限

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

9:独自SSL設定 証明書、秘密鍵の取得

Webサーバに現在設定中の証明書(crt)、中間CA証明書、秘密鍵をテキストエリア内に表示できる機能が追加されます。また、独自SSL証明書を設定した最終設定日時が画面上に表示されます。



「表示する」をクリックすると、テキストボックス内に現在設定中の情報が表示されます

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

9:独自SSL設定 証明書、秘密鍵の取得

中間認証局証明書	-----BEGIN CERTIFICATE----- [中間認証局証明書(crt)を表示する] SSLサーバ証明書が中間認証局証明書のインストールを必要とする場合、必須です。 認証局から発行された中間認証局証明書の -----BEGIN CERTIFICATE----- から -----END CERTIFICATE----- を含めたすべての行をコピーし上の欄に貼り付けてください。 ※連結ファイルをご利用の場合は認証局指定の順番で分割せずに貼り付けてください。
秘密鍵	-----BEGIN RSA PRIVATE KEY----- [秘密鍵を表示する] 管理者機能以外の方法でCSRを作成している場合、必須です。 設定するSSLサーバ証明書とペアになっている秘密鍵の -----BEGIN RSA PRIVATE KEY----- から -----END RSA PRIVATE KEY----- を含めたすべての行をコピーし上の欄に貼り付けてください。

「表示する」をクリックすると、テキストボックス内に現在設定中の情報が表示されます

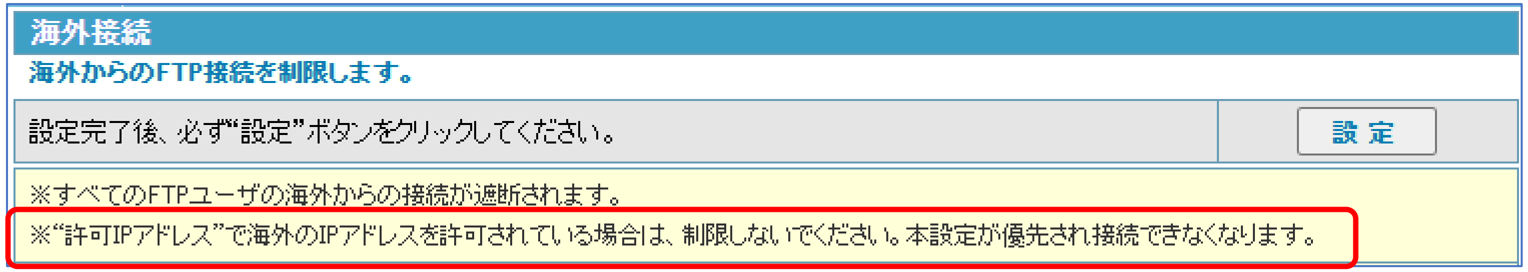
「クロスルート方式用中間認証局証明書」は今後クロスルート証明書が廃止される方向にあるため、機能を削除しました。

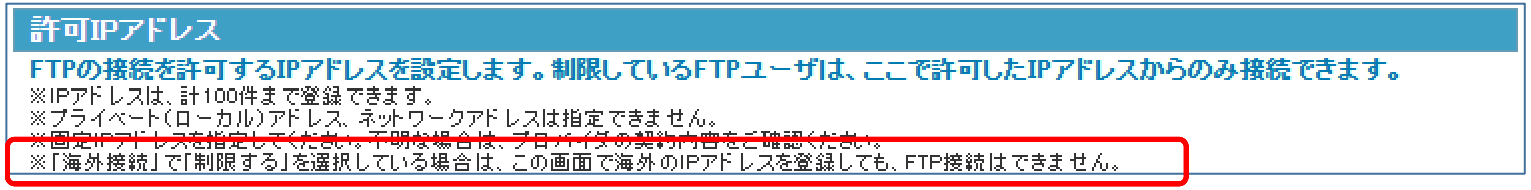
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

10:FTP接続元制限（優先順位の変更）

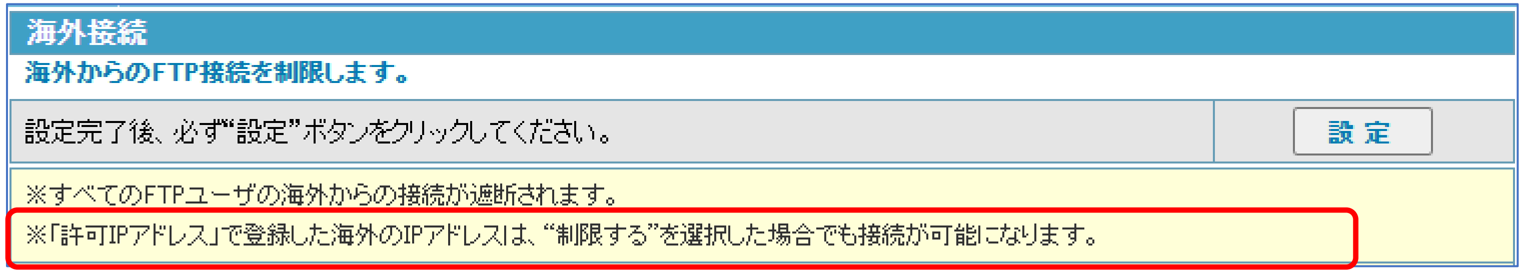
海外接続と許可IPの優先順位を変更します。
Webサーババージョン2：海外接続制限＞許可IPアドレス
Webサーババージョン3：許可IPアドレス＞海外接続制限

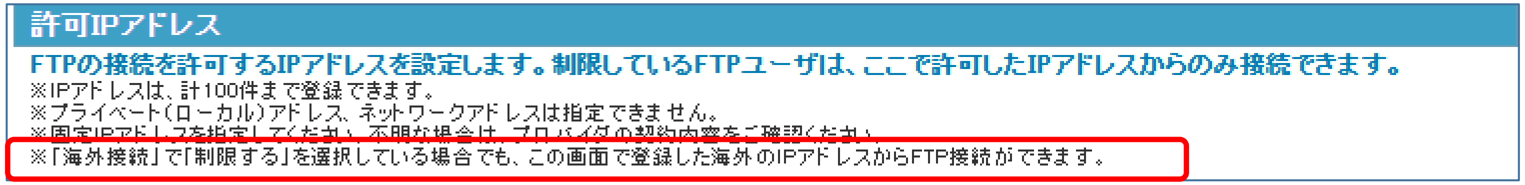
【Webサーババージョン2】





【Webサーババージョン3】

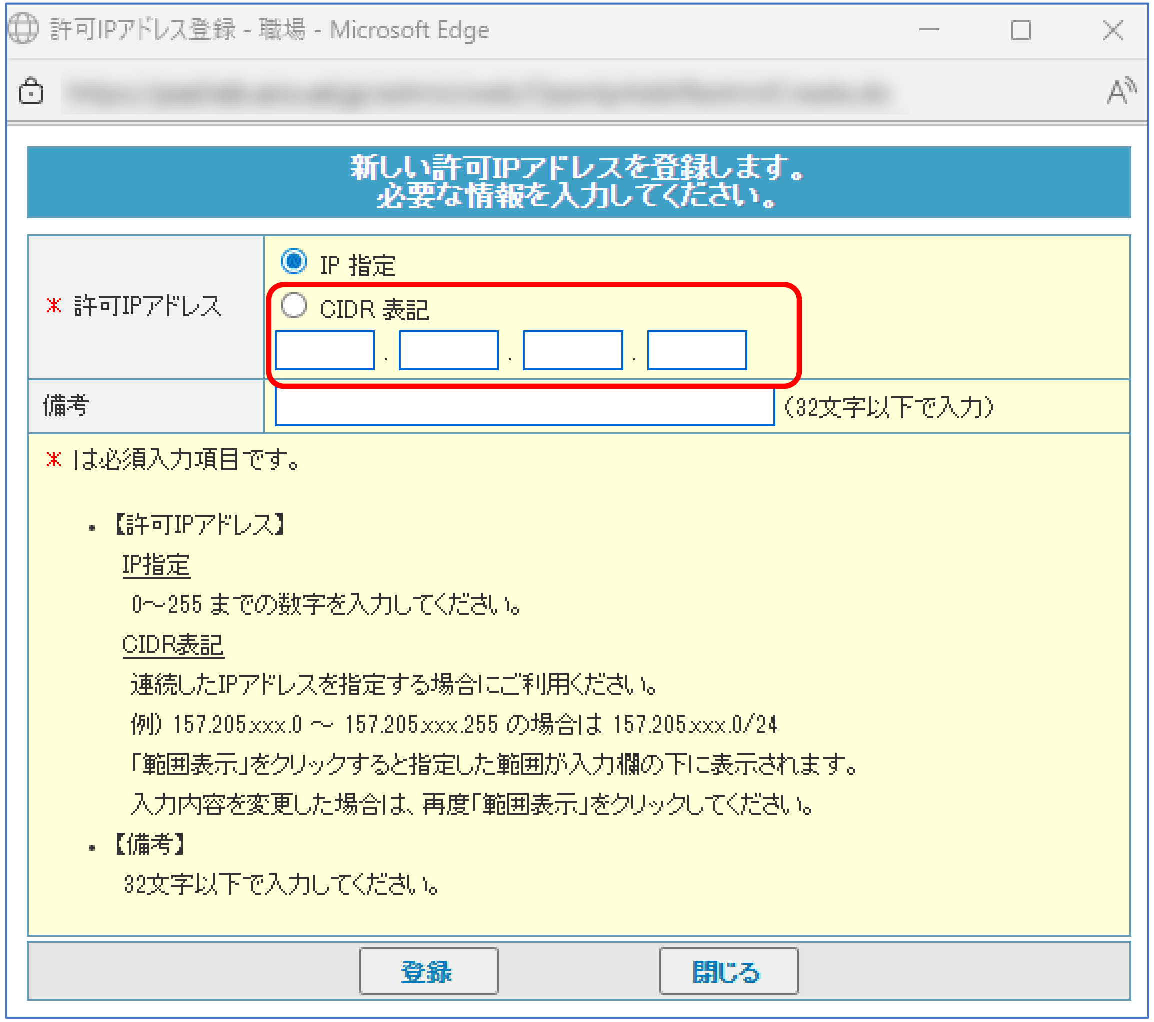




Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

10:FTP接続元制限（許可IPアドレス　CIDR対応）

他のIPアドレス登録・変更時と同様に、CIDR表記を選択できるようになります。
CIDR表記選択時には、IPアドレスおよびサブネットマスクの登録が可能です。



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

11:ディスク利用状況

ステージング環境が申し込みされている場合、ステージング環境のディスク利用状況も表示を追加します。

ディスク利用状況

ディスク全体の利用状況です。

現在の使用量			使用率	最大容量
メール		58KB	2.6%	50GB
Web	全体	1.26GB		
	(内)データベース	195MB		

ステージング環境のディスク利用状況

ディスク全体の利用状況です。

現在の使用量			使用率	最大容量
Web	全体	161MB	1.6%	10GB
	(内)データベース	160MB		

Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

12:Webサーバ情報の変更

ご利用いただくWebサーバの環境がサーババージョン3より変更されます。
詳細は以下のURLよりご確認ください。

PHP
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/php/

CGI
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/cgi/

MySQL
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/mysql/

MariaDB
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/mariadb/

PostgreSQL
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/postgresql/

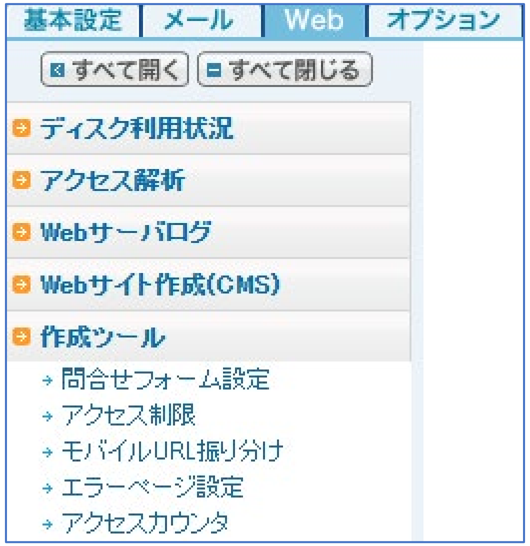
SQLite
https://dw.alpha-prm.jp/support/server_info/sqlite/

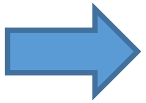
Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

13:アクセスカウンタの削除

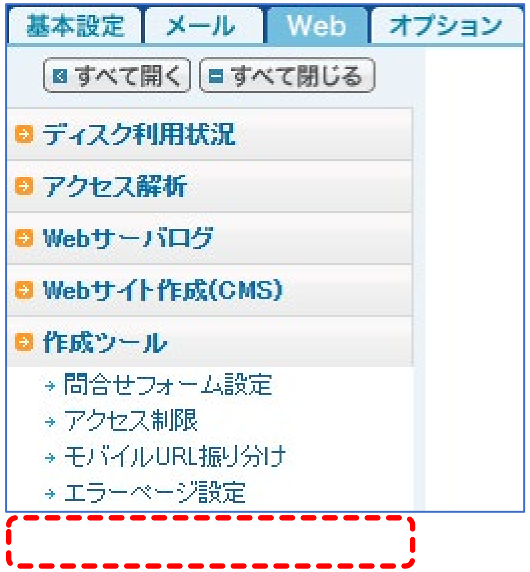
アクセウカウンタの機能は削除されます。

【Webサーババージョン2】





【Webサーババージョン3】



Copyright©2026 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.